

Euglena Group

# 日興 Web IR Day 個人投資家様向け事業説明

株式会社ユーグレナ

東証プライム市場（証券コード：2931）

【留意点】 当社は、2021年8月26日開催の臨時株主総会における承認決議により、決算期（事業年度の末日）を9月末から12月末に変更致しました。その結果、2021年12月期（第17期）は経過期間として2020年10月から2021年12月までの15ヶ月間の決算期となります。

【免責事項】 本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

# 会社概要

# ユーグレナ社の歩み - 原点と挑戦

大学発研究開発型ベンチャーとして実証された「研究開発力」と「ベンチャー精神」、そして数々の「初」の実績を基に事業を展開

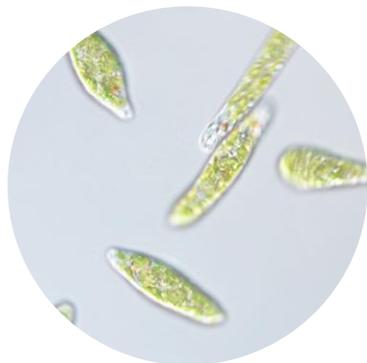
## ユーグレナ社の原点



社長の出雲が1998年に Bangladesh を訪問  
現地で目のあたりにした栄養失調問題を  
解決したい、という思いから創業

栄養豊富な食品を探し求め、  
微細藻類ユーグレナと出会う。

当時、まだ誰もユーグレナの  
大量培養に成功していなかった



## 創業後成長と挑戦



研究開発  
東京大学農学部発ベンチャー  
(2005)



2005年12月に世界で初めて  
微細藻類ユーグレナの屋外  
大規模培養に成功\*1



東京大学発ベンチャーとして  
初めて東証一部に上場  
(2014年)

国内初のSAF・RDF製造実証  
プラント完成 (2018年)

# 微細藻類ユーグレナ

# 微細藻類ユーグレナ - 生物としての特徴とポテンシャル

## 生物としての特徴

- 光合成を行う植物としての特徴と、自由に動くことが出来る動物としての特徴
- 独自成分パラミロン
- 細胞壁を持たない
- 体内に油脂を生成

## 素材としてのポテンシャル

### 食品原料



### 化粧品原料



ユーグレナ  
エキスEX



ユーグレナ発酵  
オイル

### 飼料



畜産



養殖

### 肥料



有機肥料



培養土

### バイオ燃料原料



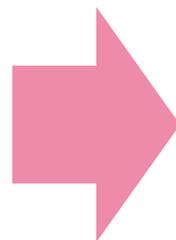
バイオジェット燃料  
バイオディーゼル燃料

# ユーグレナ社の技術力 - 石垣島ユーグレナ（食品用）の培養設備

石垣島ユーグレナの培養設備は、屋外培養プールから屋外培養タンクに進化  
2005年以降、培養技術の改良・進化を重ね、低コスト化、スケールアップ、生産と品質の安定化を実現



2005年に世界で初めて  
屋外大規模培養に成功した  
当時の設備@石垣島  
(現在もクロレラ培養に使用)



タンク上部  
から採光

現在の食品用  
屋外大規模培養設備  
@石垣島

# ユーグレナ社の技術力 - 微細藻類の培養方法

「独立栄養培養」 × 「従属栄養培養」 = 「光従属栄養培養」 を実現

独立  
栄養培養

培養難易度が高い

屋外培養プール



光従属  
栄養培養

生産性と栄養バランスの両立

屋外培養タンク



石垣島ユーグレナ  
(食品用)

従属  
栄養培養

培養効率が高い

屋内培養タンク



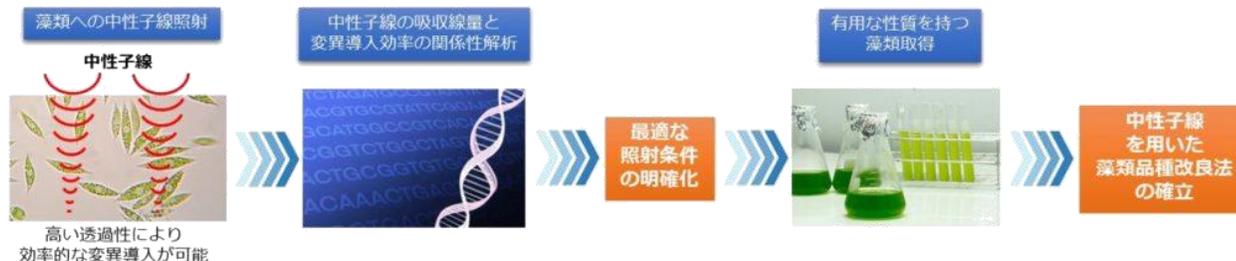
オーランチオ  
キトリウム

# ユーグレナ社の技術力 - 品種改良技術

遺伝子変異導入やゲノム編集による高効率な品種改良技術と高速選別技術を確立

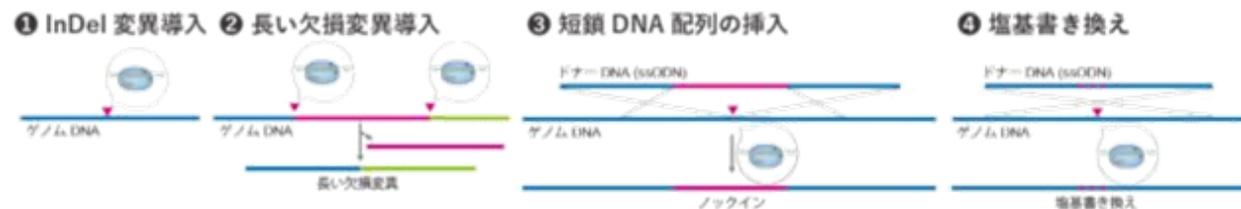
高効率な  
遺伝子変異の  
導入技術

ランダム性はあるものの、  
作出株は即時産業利用が可能



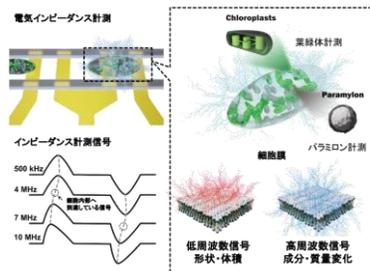
ピンポイントなゲノム編集  
技術

各種規制対応が必要となるものの、  
柔軟かつ緻密な有用株作出が可能



有用品種の  
高速選別技術

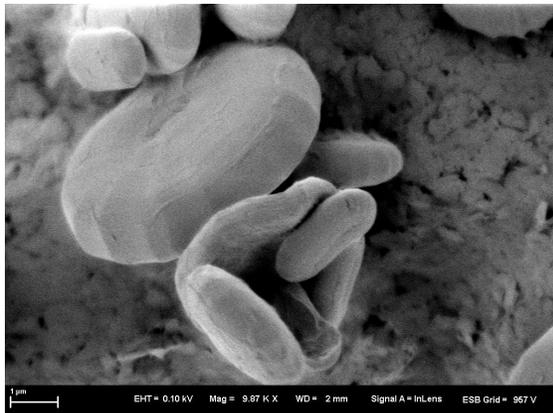
有用株の高速選別により、  
各種品種改良を加速



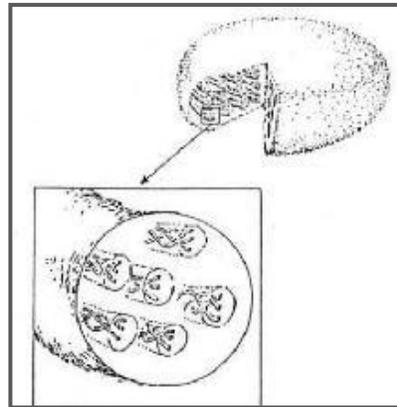
# 微細藻類ユーグレナ - ヘルスケア素材としてのポテンシャル

ユーグレナが含有する希少成分「パラミロン」には様々な機能が期待される  
パラミロンを含有する機能性表示食品を発売、お悩み解決型商品としてシニア層やから指示

## パラミロン



撮影：青山学院大学 福岡伸一教授



パラミロンの粒子構造  
(Marchessault&Deslandes, 1979)

- $\beta$ -1,3-グルカンと呼ばれる食物繊維の一種で、ユーグレナが生成する希少成分
- ヘルスケア素材として、様々な機能が期待される

## 「睡眠の質を改善\*1」 & 「ストレス緩和\*2」



- 「からだにユーグレナ 睡眠・ストレスWサポート」  
睡眠の質・ストレスにWで働く、からだにユーグレナ初の機能性表示食品
- 睡眠の質（眠りの深さ、すっきりとした目覚め）の改善をサポート
- 日中の仕事や家事育児の悩みによる一時的なイライラ感や緊張感を和らげて元気な毎日をサポート

# 微細藻類ユーグレナ - バイオ燃料原料としてのポテンシャル

## ユーグレナはバイオ燃料原料生産において様々な優位性を有する

商業利用に向けたポテンシャルが高く、チャレンジングではあるがベンチャー精神で実現を目指す

### ① 複数の培養方法にチャレンジ可能

- 独立栄養培養
- 従属栄養培養

### ② 細胞壁が無く、油脂抽出が容易

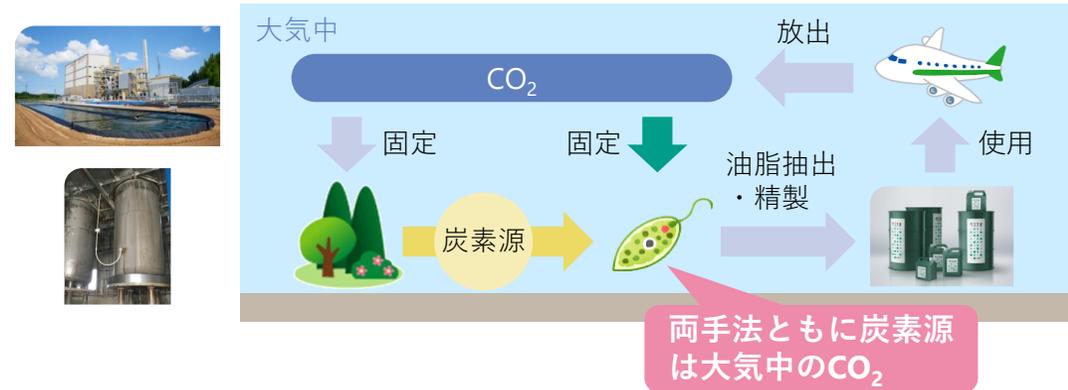
- 他の藻類と比べて低コスト・低エネルギーで油脂抽出が可能

### ③ SAF製造に適したワックスエステル<sup>\*1</sup>を生成

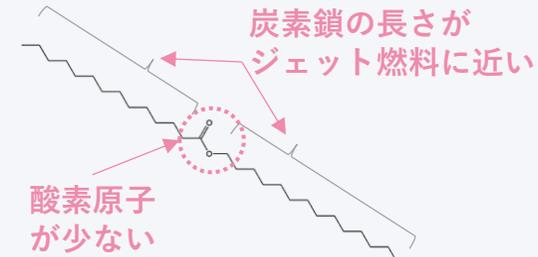
- 低エネルギー・低水素使用量でSAF製造が可能

### ④ 脱脂藻体の多様な用途

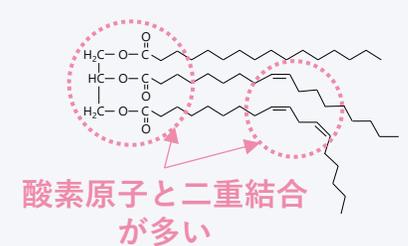
- 脱脂藻体を飼料・肥料販売することで、製造コストの低減が可能



ワックスエステル<sup>\*1</sup>  
(ユーグレナに含まれる油脂)



トリグリセリドの例<sup>\*2</sup>  
(一般的な植物油に含まれる油脂)



\*1: 微細藻類ユーグレナが体内に生成する脂質成分

\*2: 農林水産省 消費・安全局食品安全政策課 油脂参照([https://www.maff.go.jp/j/syoutan/seisaku/trans\\_fat/t\\_kihon/fat\\_oil.html](https://www.maff.go.jp/j/syoutan/seisaku/trans_fat/t_kihon/fat_oil.html))

# バイオ燃料事業

# 業界動向 - バイオ燃料導入を後押しする政策及び枠組み

EUと英国で2025年よりSAF 2%導入が義務化。CORSlA\*1や各国規制導入により、2030年に向けて国内外のSAF需要拡大が加速化する見通し

## バイオ燃料導入に向けた各国方針

### CORSlA\*1

- 2019年比85%までCO<sub>2</sub>排出量を削減
- 2024年から自主的運用（126か国が参加）、2027年から全ICAO（国際民間航空機関）加盟国に原則適用

### 欧州



- EU RED III
- ReFuel EU

### アジア



- 日本  
⇒10%@2030年～

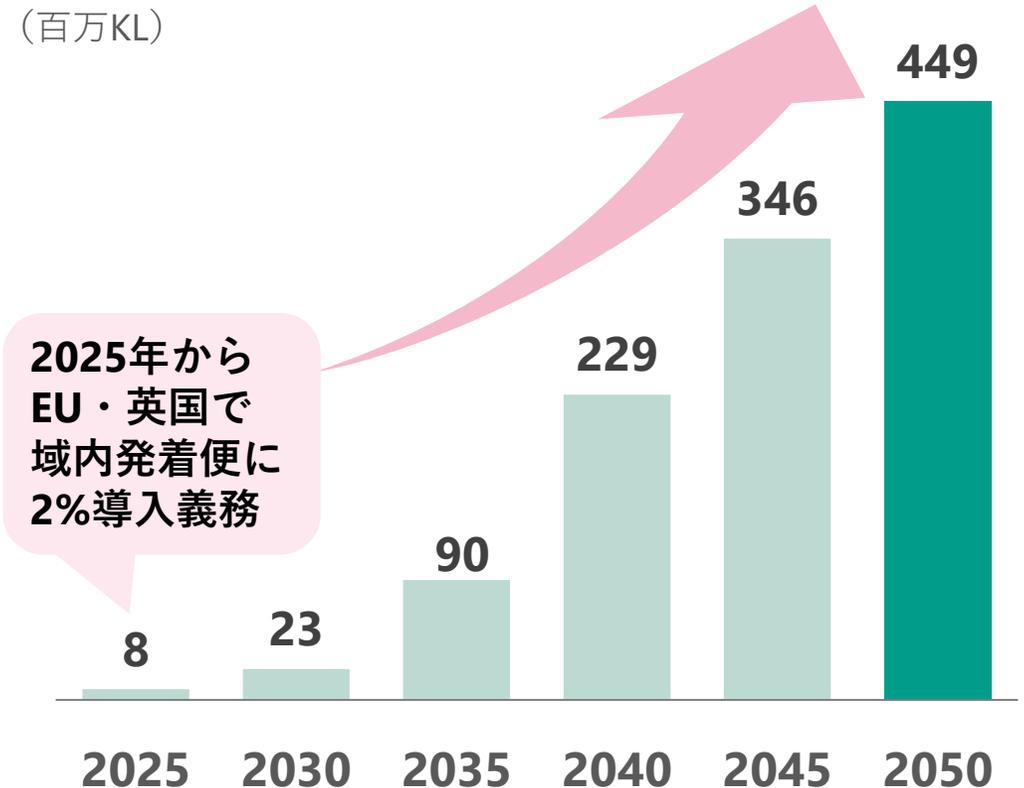
### 北米



- Grand Challenge
- RFS/LCFS等

## 世界のSAF需要の見通し\*2

(百万KL)

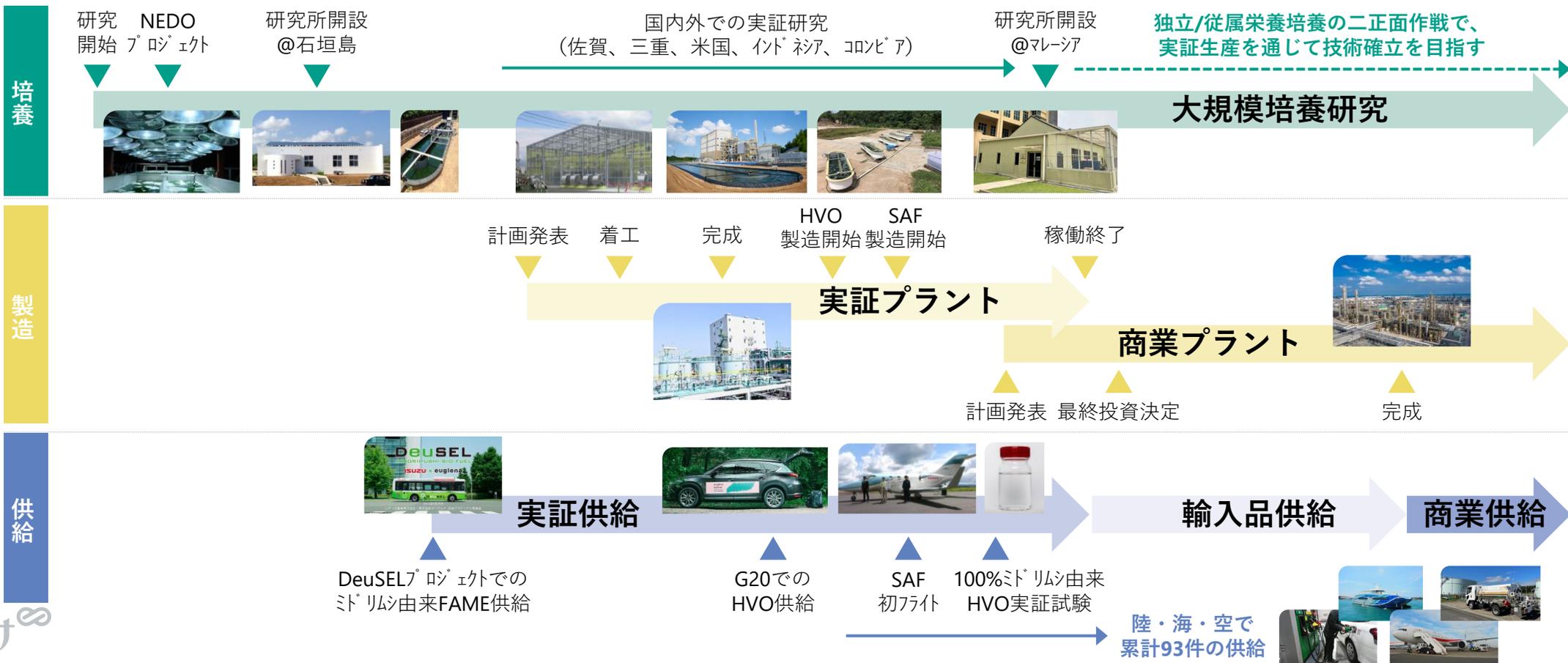


# 商業化に向けた歩み

## 日本のフロントランナーとして、原料開発と製造・供給を並行して推進

国産SAF初フライトの実現等を経て、実証製造フェーズは成功裏に終了。次は商業プラント建設と微細藻類の大規模/低コスト培養技術確立に注力し、2030年台に微細藻類由来バイオ燃料の商業生産を目指す

2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030



微細藻類由来バイオ燃料の商業生産

# 2030年に向けた成長イメージ

実証ステージを成功裏に終了し、2024年から商業化ステージへシフト  
2030年に売上高300億円規模、調整後EBITDA 60億円相当の事業展開を目指す

## 中期方針

~2024 実証プラントの稼働とバイオ燃料の実証供給

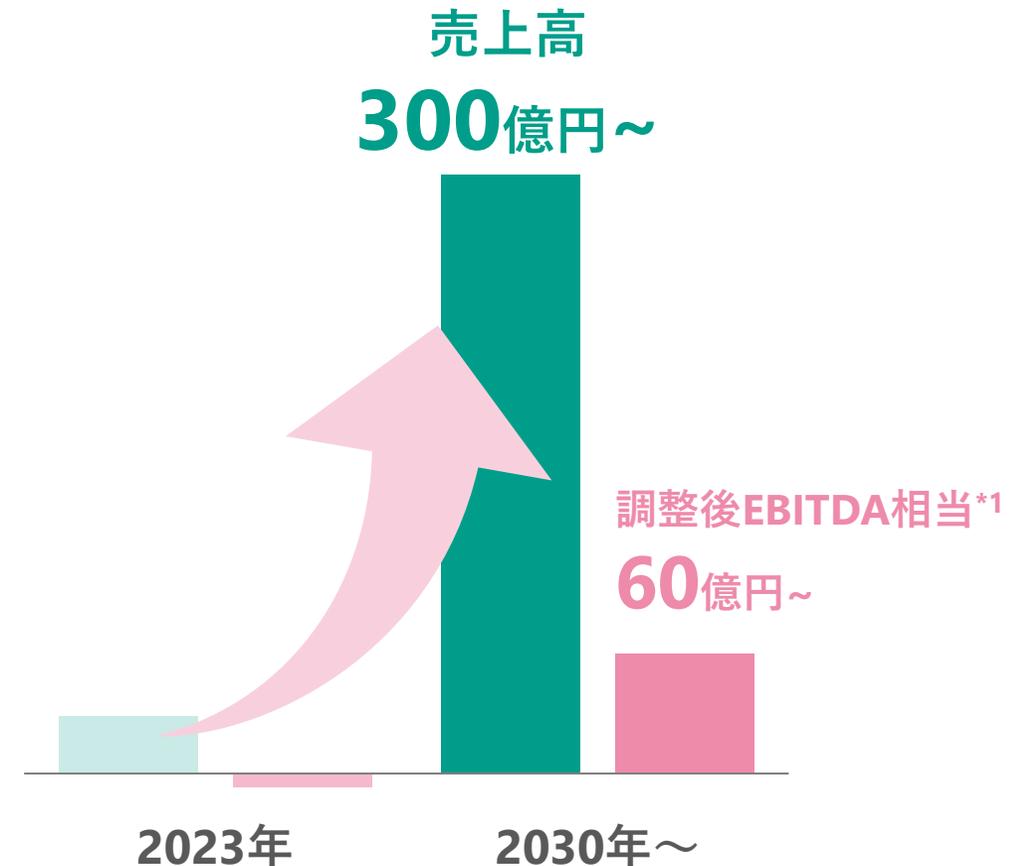
サプライチェーンの構築

~2030 商業プラント建設@マレーシア

バイオ燃料原料用ユーグレナ生産の研究開発

2030~ 微細藻類由来バイオ燃料の商業生産

## 中期的な成長イメージ

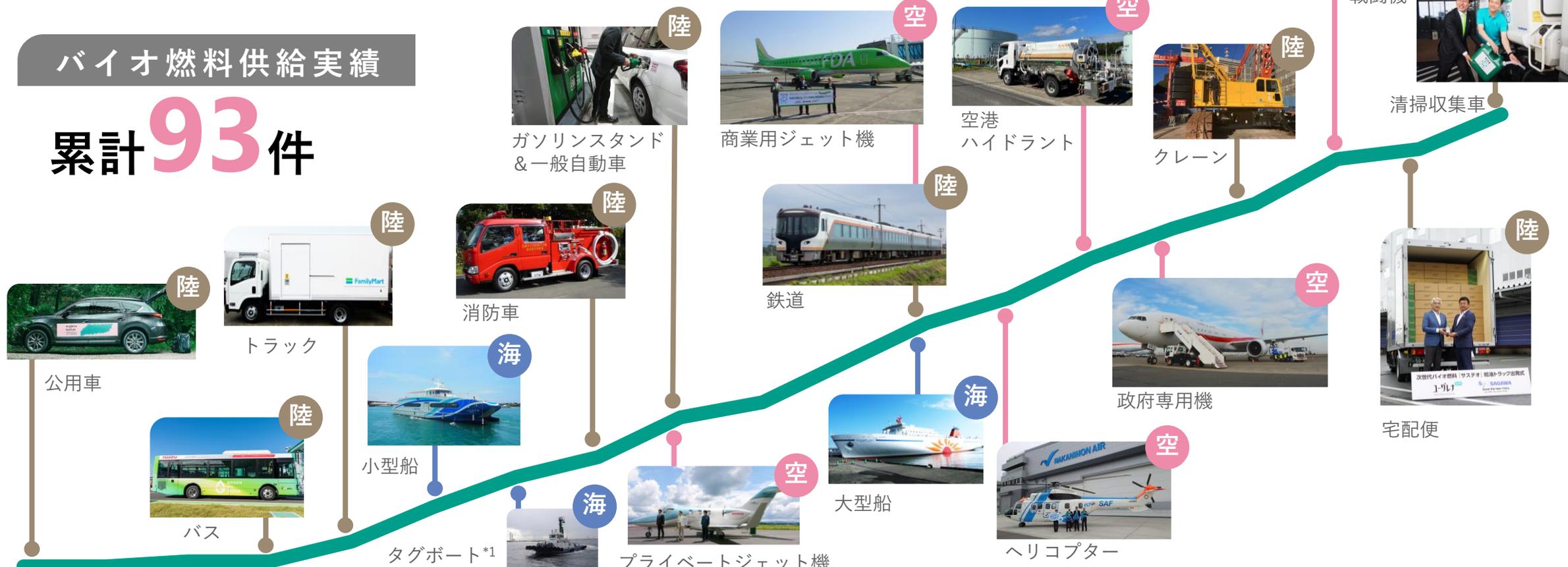


# 実証フェーズ - バイオ燃料供給先の拡大と多様化

## 陸・海・空の全領域でバイオ燃料供給先を拡大かつ多様化

バイオ燃料供給実績

累計 **93** 件



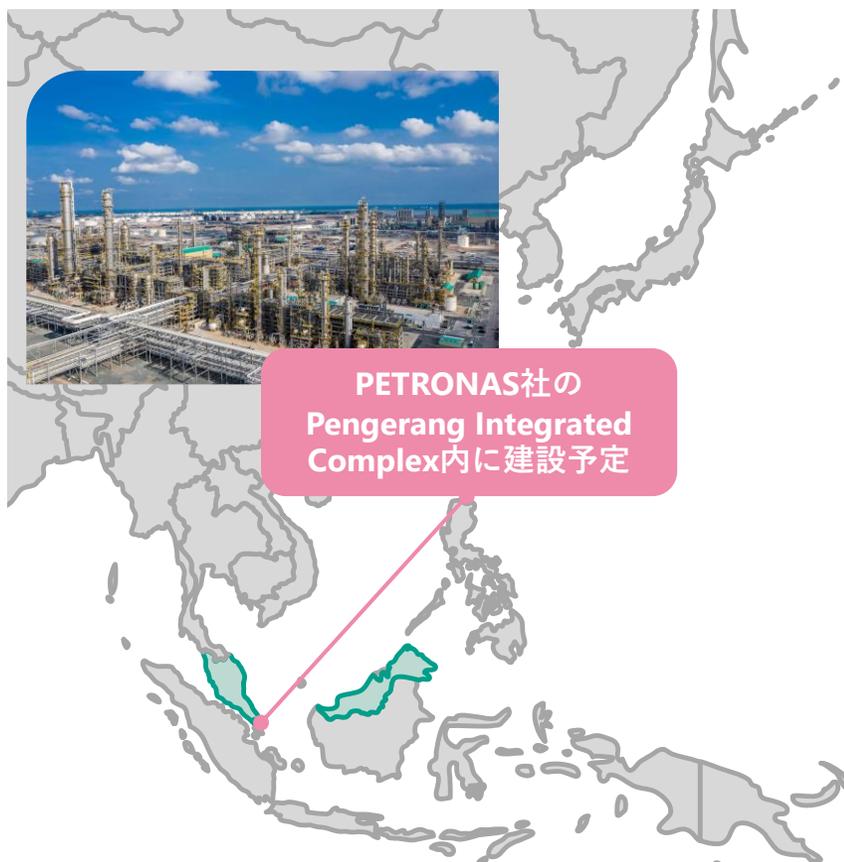
Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
2019年9月期		2020年9月期				2021年12月期					2022年12月期				2023年12月期			

\*1: 入出港する船舶の接離岸や水上構造物の作業をサポートする船のこと

# 商業プラント - プロジェクト概要

## PETRONAS社・Enilive社と商業プラント建設に関する最終投資決定を完了

製造能力は年産72.5万KL、本プロジェクト規模は約13億ドル相当。2028年下期迄の稼働開始を目指す



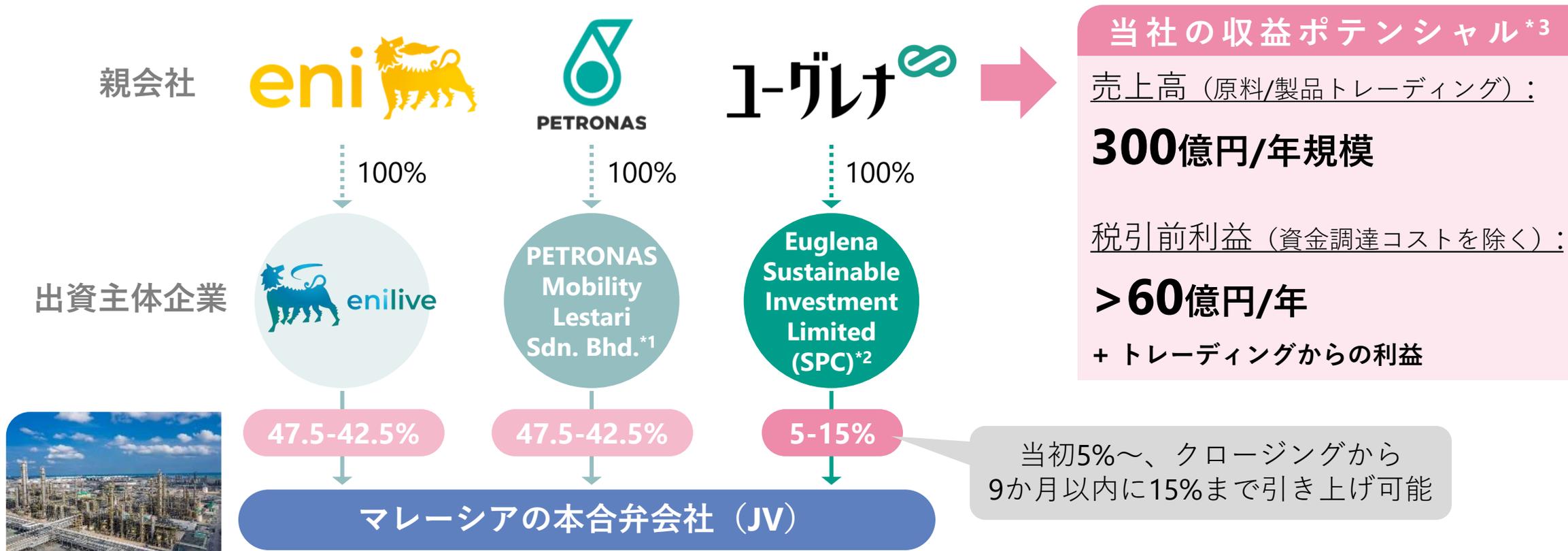
### プロジェクト計画概要

製品	SAF (バイオジェット燃料) HVO (次世代バイオディーゼル燃料)
製造能力	最大12,500バレル/日 (約72.5万KL/年相当)
使用原料	使用済み植物油、動物性油脂、植物油の加工に伴う廃棄物、 <b>中期的には微細藻類由来の藻油等のバイオマス原料</b>
原料処理能力	約65万トン/年
スケジュール (予定)	本合併会社設立：2024年第4四半期中 稼働開始：2028年下期迄
プロジェクト金額	約13億米ドル

# 商業プラント - 本合弁会社の概要

当初シェアは最大15%、当社取扱量は年間約10万KL相当

収益ポテンシャルは売上高300億円規模、税引前利益60億円以上



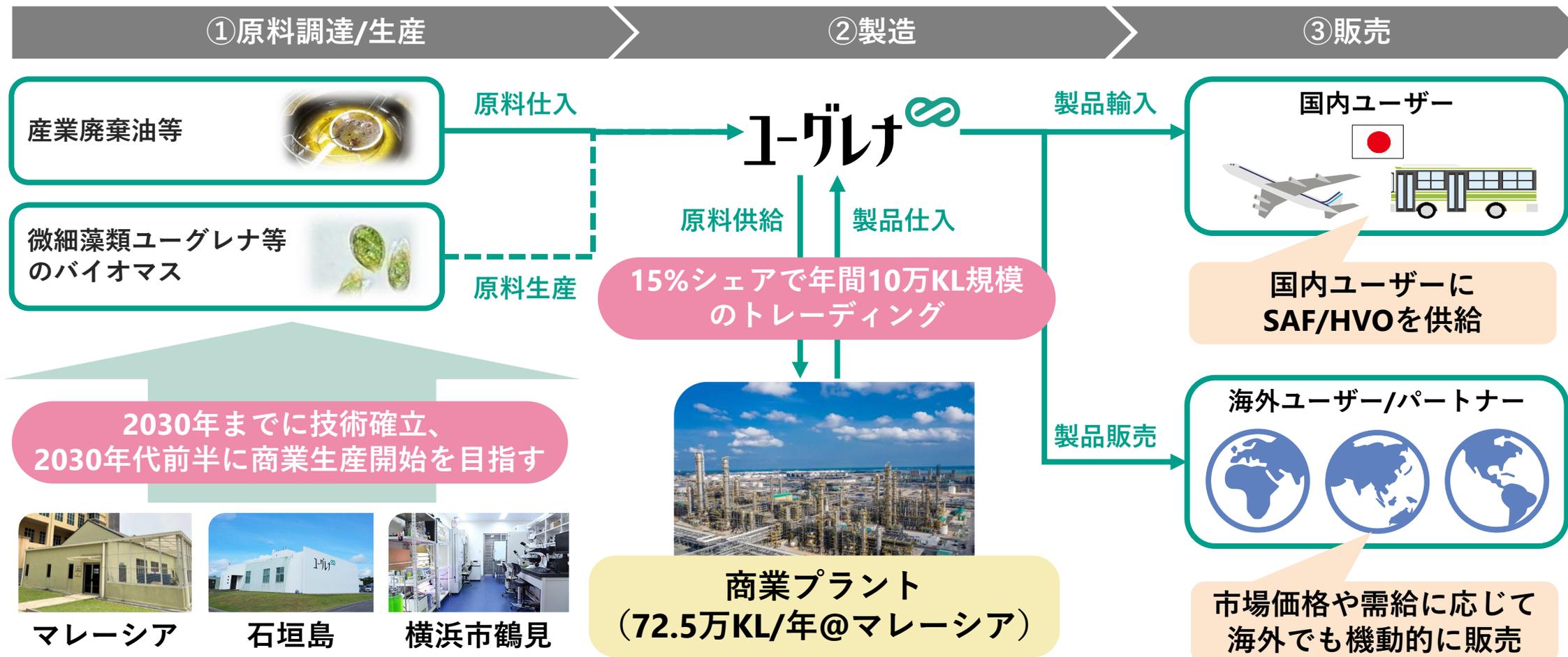
\*1: Petroliam Nasional Berhad (PETRONAS) の完全子会社である PETRONAS Marketing International Sdn. Bhd. が 100% 保有

\*2: 2024年4月にケイマン諸島に設立された特別目的会社

\*3: 当社シェア15% (約10万KL/年相当)、バイオ燃料価格@300円/L、本合弁会社の純利益率20%以上・配当性向100%、銀行ローン等の資金調達無し、を想定

# サプライチェーン - 商業プラント完成後のイメージ

商業プラント完成後に必要となるサプライチェーンを確保するために、原料生産の研究開発や原料・製品のトレーディング体制の構築を推進



# 国内供給網 - HVO/SAF普及に向けたパートナーシップ

国内でのHVO・SAF供給の拡大に向けて、パートナーシップを構築

## HVO（次世代バイオディーゼル燃料）

### 展開地域

北海道内  
東北地域  
京浜地域  
中部地域  
山陽地域  
北九州地域

### 供給パートナー先



## SAF（バイオジェット燃料）

### 羽田空港におけるパートナーシップ

- SAF供給・販売の事業化に向けたサプライチェーン構築の共同検討
- グリーンボンド（10億円）の発行

➡ 最大5万KL/年の  
SAF供給体制の構築を目指す



日本空港ビルディング（株）

国内外エアライン  
@東京国際空港  
（羽田空港）



# 研究開発 - バイオ燃料原料用ユーグレナ生産の実用化

独立/従属栄養培養の二正面作戦で、2030年までに大規模・低コスト培養技術の確立を目指す

これまでの主な研究開発

2030年に向けて



@インド  
ネシア



@三重



熱帯バイオマス技術研究所

独立栄養培養での  
研究開発を継続



光従属  
栄養培養



従属  
栄養培養



生産技術研究所

従属栄養培養での  
研究開発を強化



飼料



肥料



資源サーキュラー技術研究所

脱脂藻体の飼料・  
肥料活用の研究

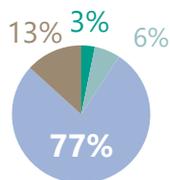
# ヘルスケア事業

# ビジネスモデル - 3つのチャネル展開

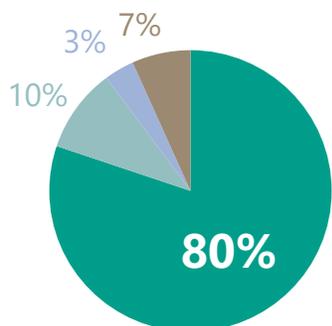
上場時、OEM中心だったビジネスモデルから直販中心のビジネスモデルへ転換

グループ売上内訳\*1

2012年度：16億円



2023年度：414億円

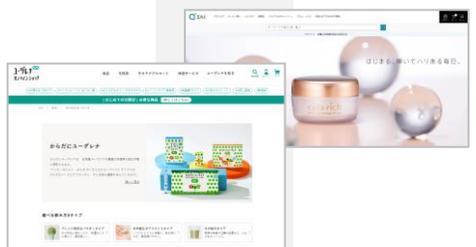


■ 直販 ■ 流通  
■ OEM等 ■ その他

直販 (BtoC)



食品&化粧品



当社ECサイト  
「ユーグレナ・オンラインショップ」  
グループ会社ECサイト・通販

流通 (BtoB)



食品&化粧品



全国のドラッグストア・  
取扱店網 量販店・  
(美容院・バラエティ  
専門店等) ショップ等

OEM・原料供給



サプリメント&  
化粧品

製造の一部工程または  
全工程を担う



粉末受託製造

OEM・ODM  
顧客企業群



微細藻類  
粉末原料

大手流通・  
食品メーカー

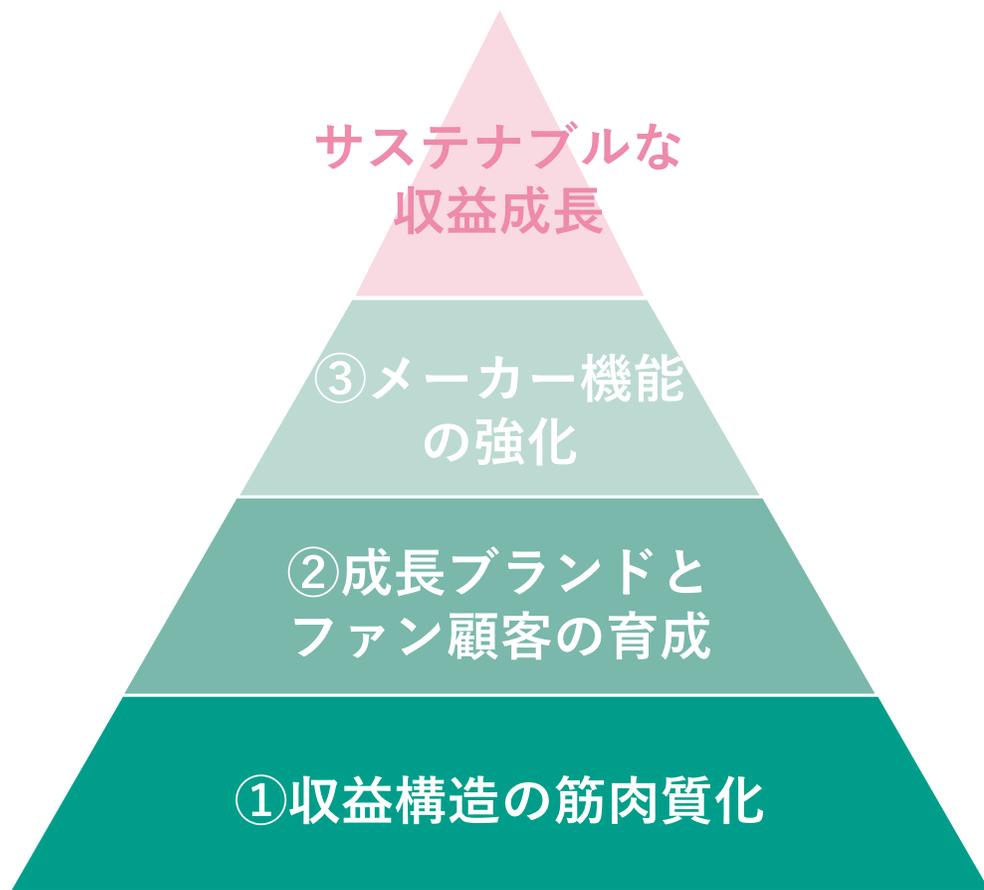
コラボ商品等

消費者

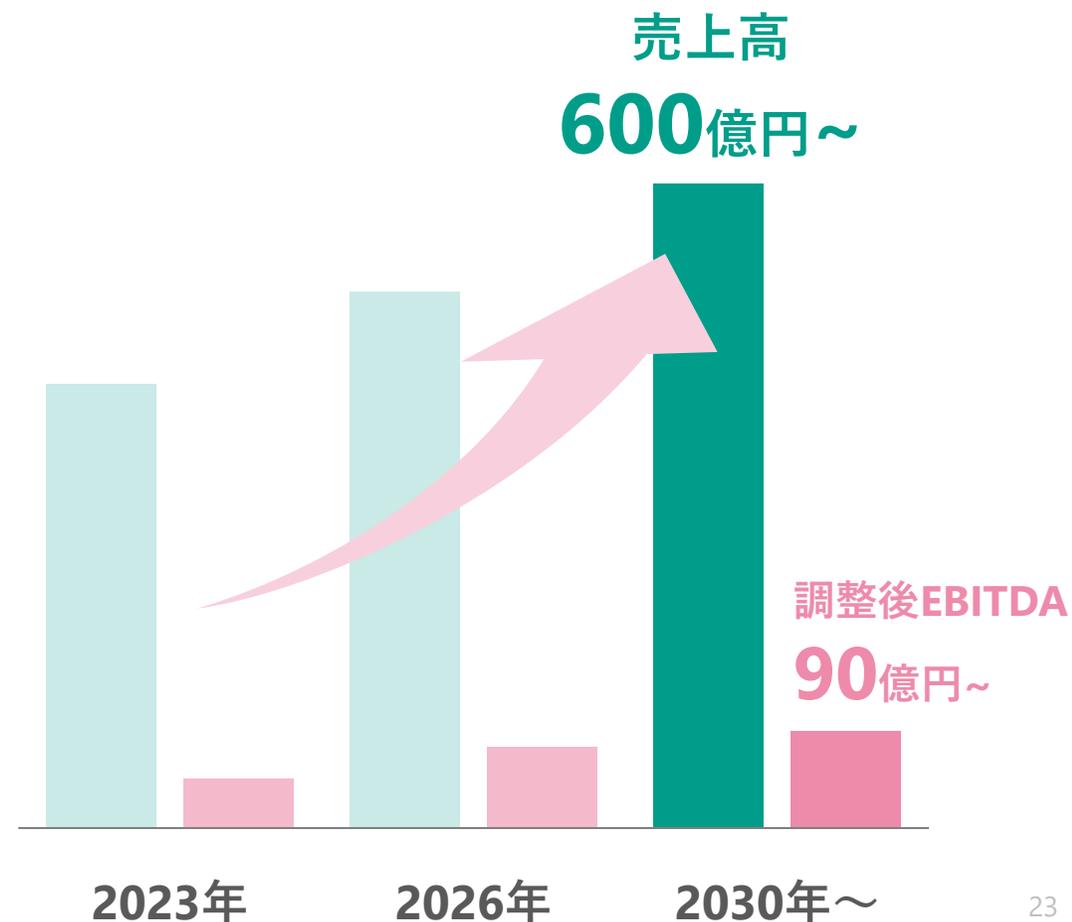
# 2030年に向けた成長イメージ

中期方針の推進により、2026年までにサステナブルな収益成長を可能とする事業基盤を構築  
グループ収益の大黒柱として、2030年に売上高600億円、調整後EBITDA 90億円の達成を目指す

## 中期方針



## 中期的な成長イメージ



# ユーグレナ・グループの主力ブランド群

サステナビリティ、ウェルエイジング、先進的市場創出の3領域をターゲットとして複数ブランドを展開

## サステナビリティ

からだにユーグレナ



I-グレ<sup>∞</sup>

## ウェルエイジング

ひざサポート  
コラーゲン



Q'SAI

ザ・ケール



Q'SAI

## 先進的市場創出

C COFFEE



mej

食品

one



I-グレ<sup>∞</sup>

akyrise



I-グレ<sup>∞</sup>

化粧品

コラリッチ



Q'SAI

epo



épauler

CONC (コンク)

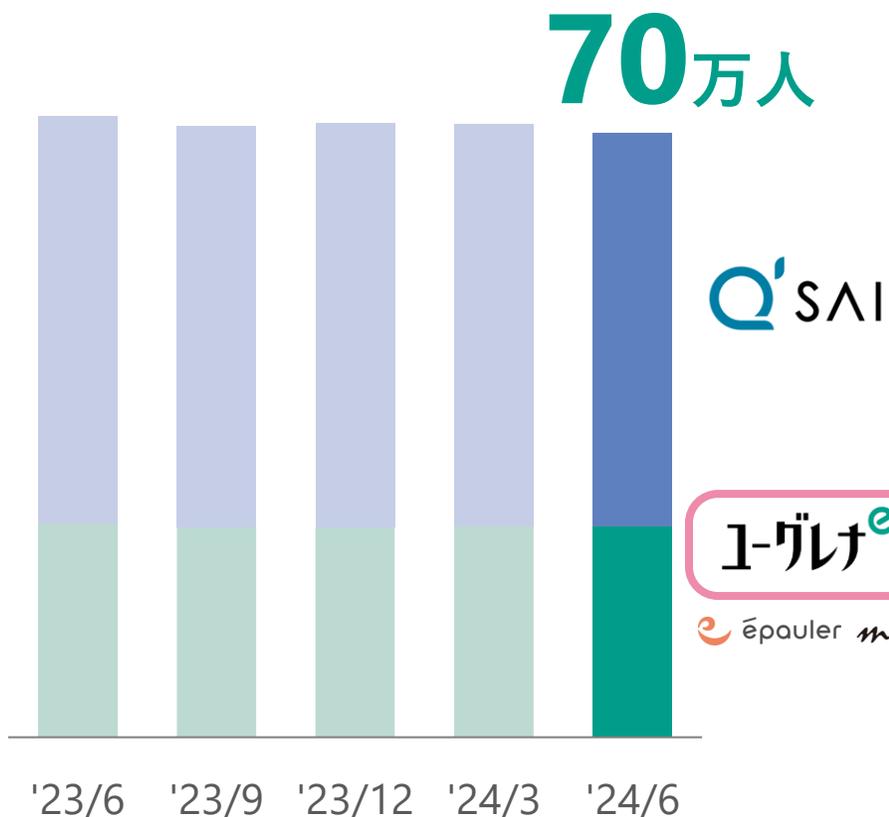


I-グレ<sup>∞</sup>

# 定期顧客数の推移

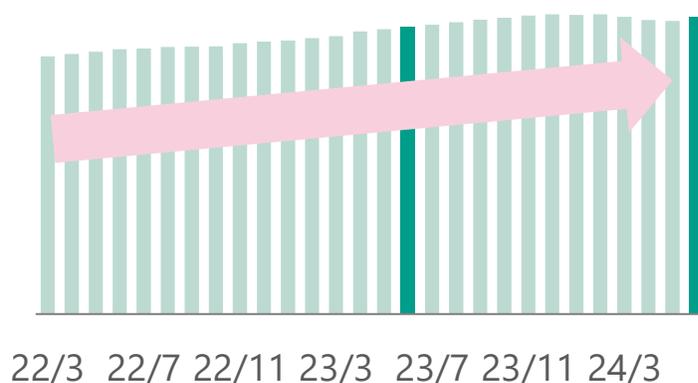
紅麹問題を乗り越えて横ばいを維持、ユーグレナ社の2ブランドが成長トレンドへ

## グループ定期顧客数



ユーグレナ

## からだにユーグレナ (健康食品)



グリーントレット乳酸菌は、石垣島ユーグレナが乳酸菌の働きを活性化

## CONC (化粧品)



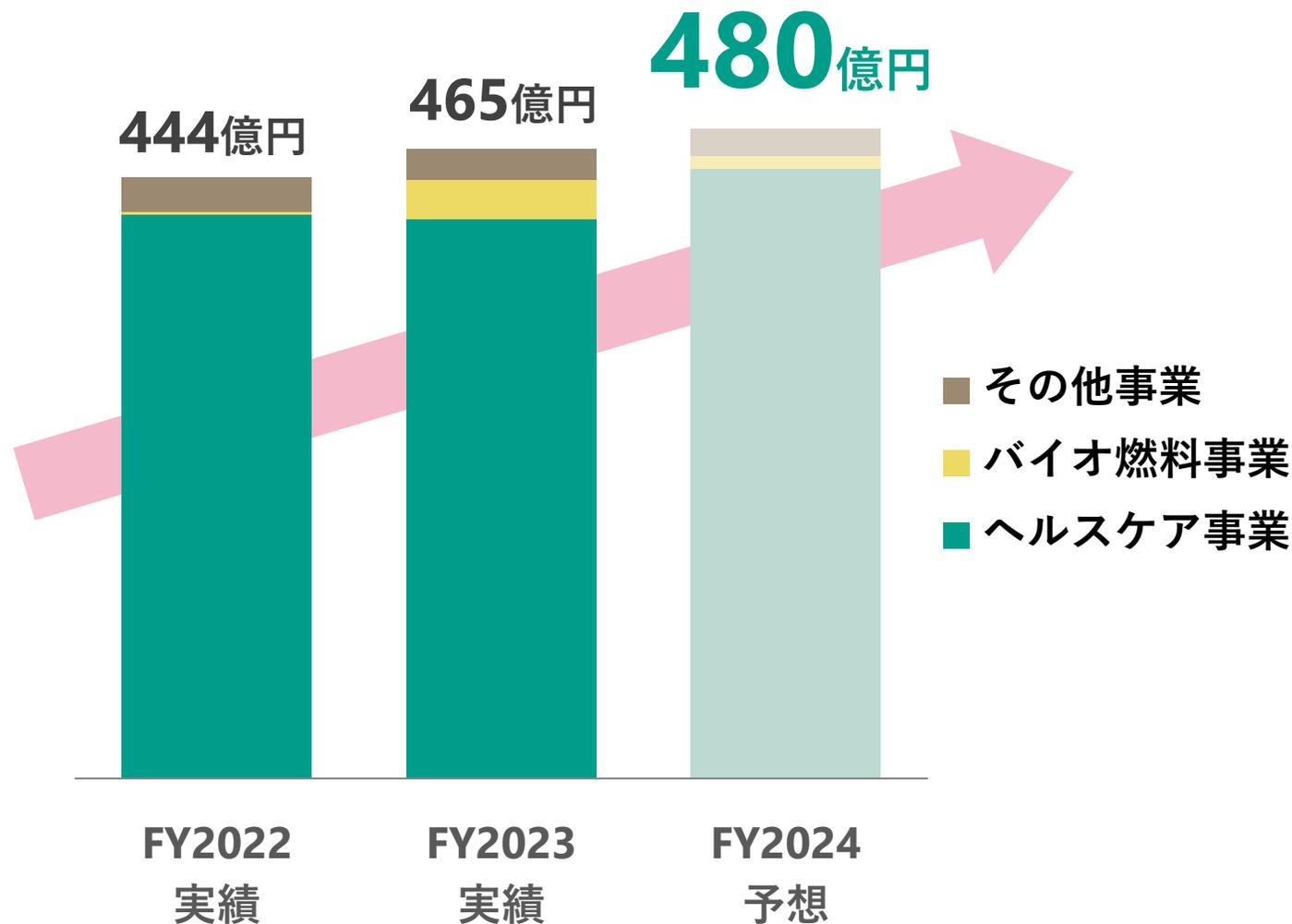
リンクルインジェクションが好調、定期顧客数が1年で6倍に

# 業績動向と中期展望

# 連結業績 - 売上高

2024年予想480億円

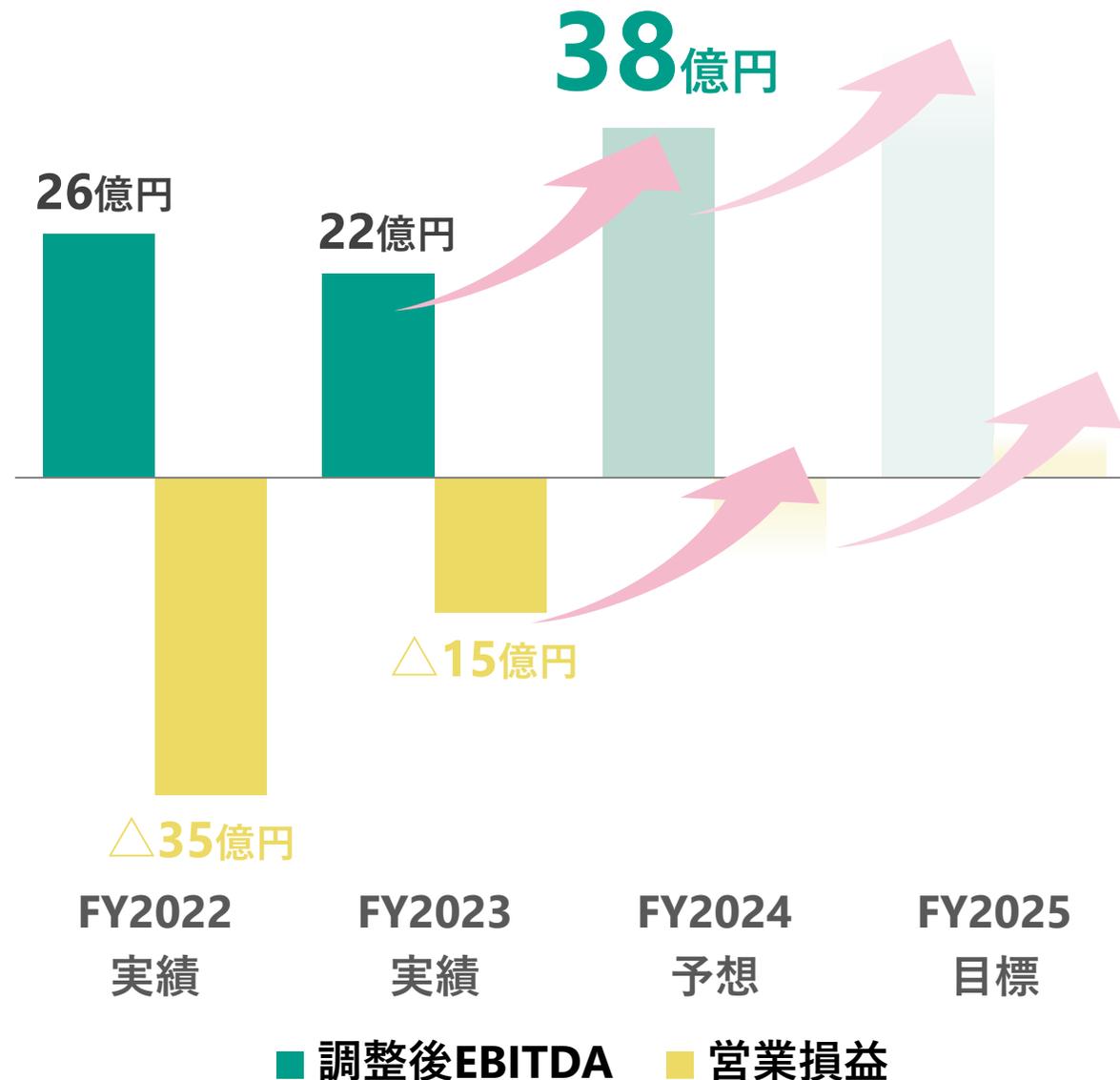
2023年に続き、  
2024年も過去最高値  
更新を目指す



# 連結業績 - 調整後EBITDA、営業損益

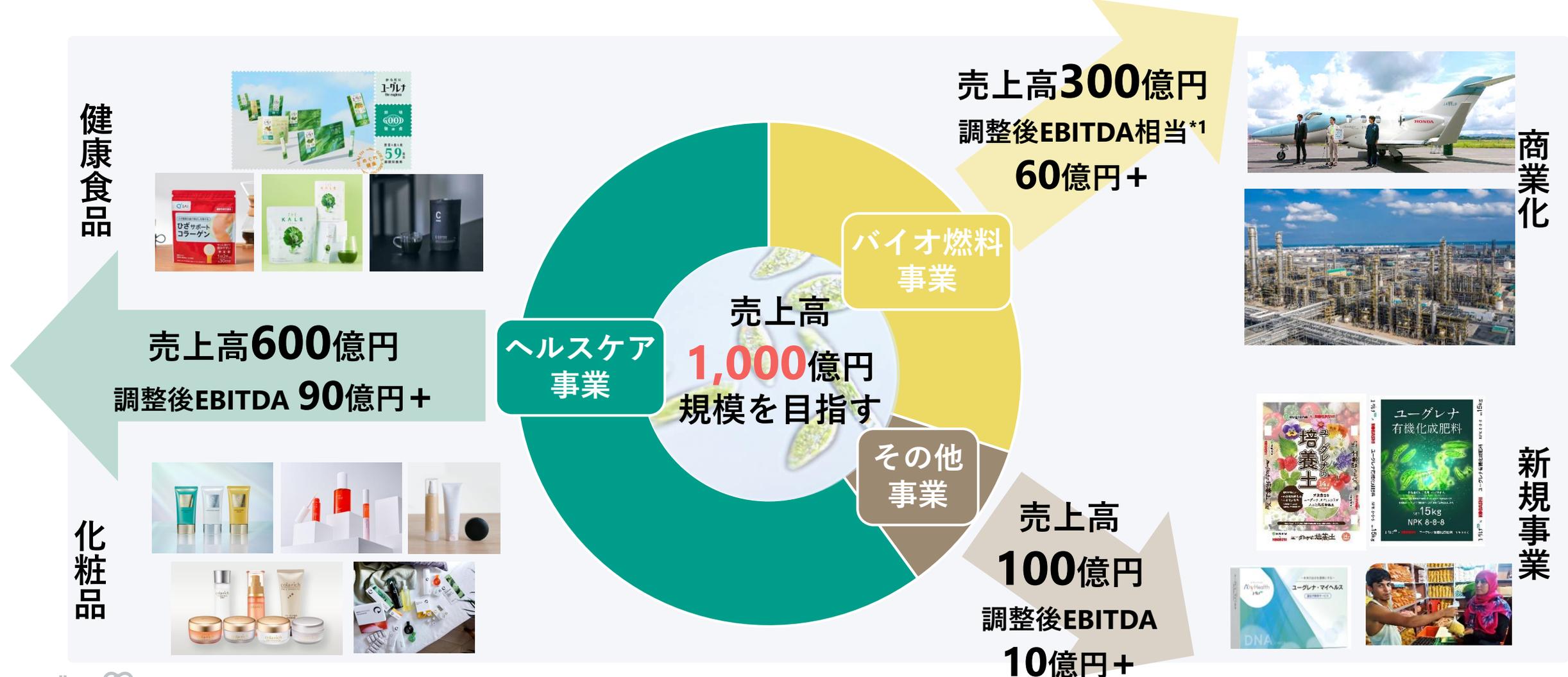
調整後EBITDAは  
2024年予想38億円、  
2025年も拡大を目指す

営業損益は  
2025年黒字化を目指す



# 2030年度に向けた成長イメージ - 事業ポートフォリオ

既存事業の成長と新たな売上の柱となるシーズの選択肢を確保し、売上高1,000億円規模を目指す



\*1: 合併会社からの配当による税引前利益（出資比率を15%想定、資金調達費用を除く）イメージ

# ユ-グレナ<sup>∞</sup>

いきる、たのしむ、サステナブル。

補足資料：

2024年12月期第2四半期決算サマリー

# 会社概要

1-グレナ 

いきる、たのしむ、サステナブル。

創業	2005年8月9日
本店	東京都港区芝5-29-11
資本金	163億556万円（2024年6月末時点）
社員数*1	1,050名（連結）（2023年12月末時点）
グループ会社	連結子会社16社（うち、キューサイ・グループ4社、海外合弁会社1社）（2024年6月末時点）
フィロソフィー	Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）
パーパス	人と地球を健康にする
上場市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	2931
株主数	119,827名（2023年12月末時点）

# 成長ドライバー - 戦略的なM&A

## M&Aはユーグレナにおける重要な戦略に位置付けられている

2005年8月  
創業

バリューチェーンの  
強化

新たな技術領域の獲得

デジタルに特化した  
D2C企業の獲得

非連続成長の達成



2024年1月  
販売チャネル (B2B)



2017年4月  
販売チャネル (B2C)



2016年12月  
販売チャネル/生産機能



2015年9月  
販売チャネル (B2C)



2015年3月  
販売チャネル (B2B)



2013年3月  
生産機能



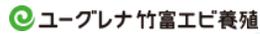
2017年10月  
遺伝子検査



2019年6月  
健康食品 D2C



2018年4月  
健康食品 D2C



2015年9月  
エビの養殖



2021年3月  
スキンケア D2C



2024年4月  
サティス製薬グループ



2022年5月  
ネット広告/デジタル

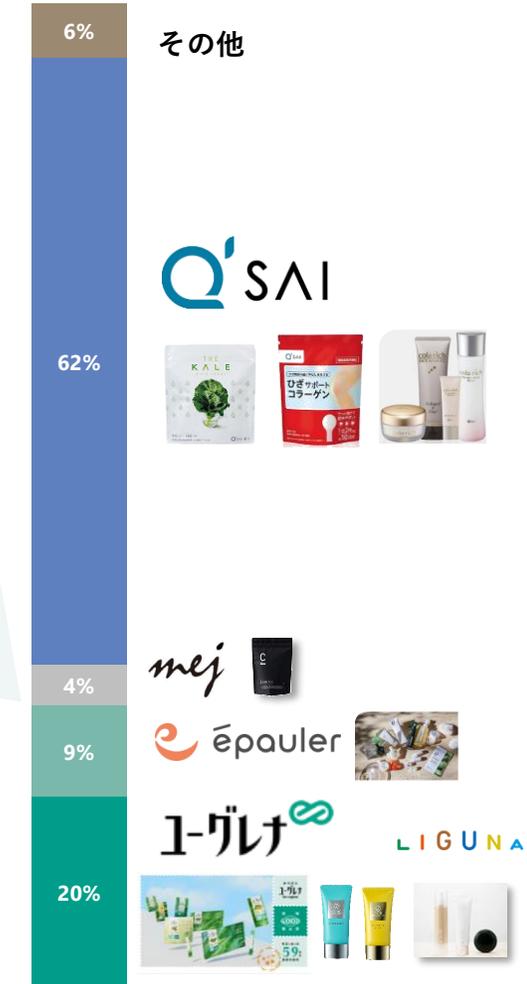


2021年6月  
健康食品/スキンケア  
通販会社



2021年11月  
肥料

売上貢献割合\*1



\*1: 連結売上高に対するユーグレナヘルスケア、エポラ、MEJ、キューサイグループ、その他の売上高の構成比

\*2: 2005年当時の培養設備で現在は違う設備を使用

# 2024年度業績 - 売上高

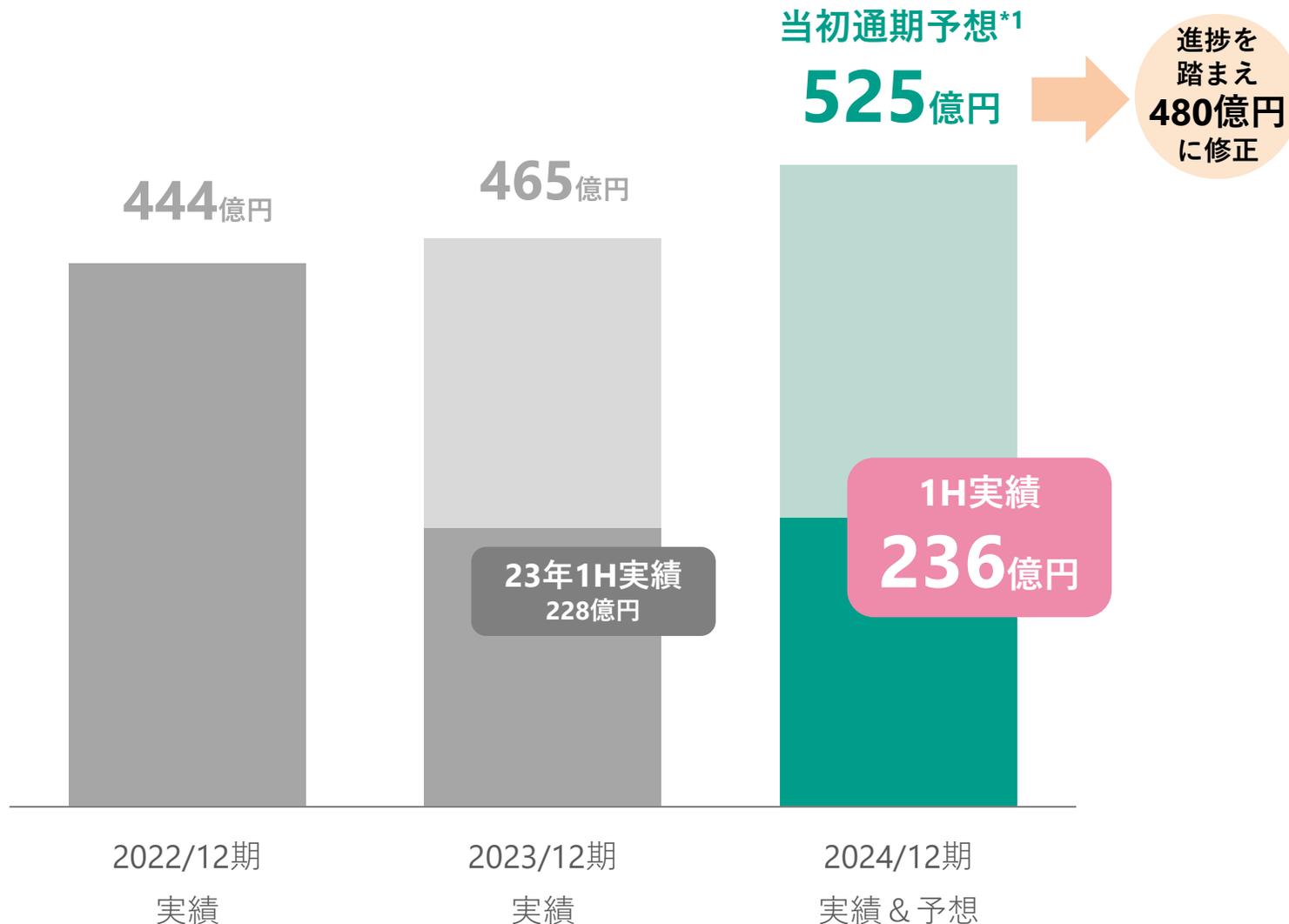
2024年度1H売上高

236億円

(当初通期予想進捗率 45%)

サティス製薬が連結寄与する一方、  
バイオ燃料の大口取引の未実行により、  
前年同期比で+4%増

バイオ燃料の市場環境や  
はこ社売却影響を踏まえ、  
通期予想を下方修正



# 2024年度業績 - 調整後EBITDA

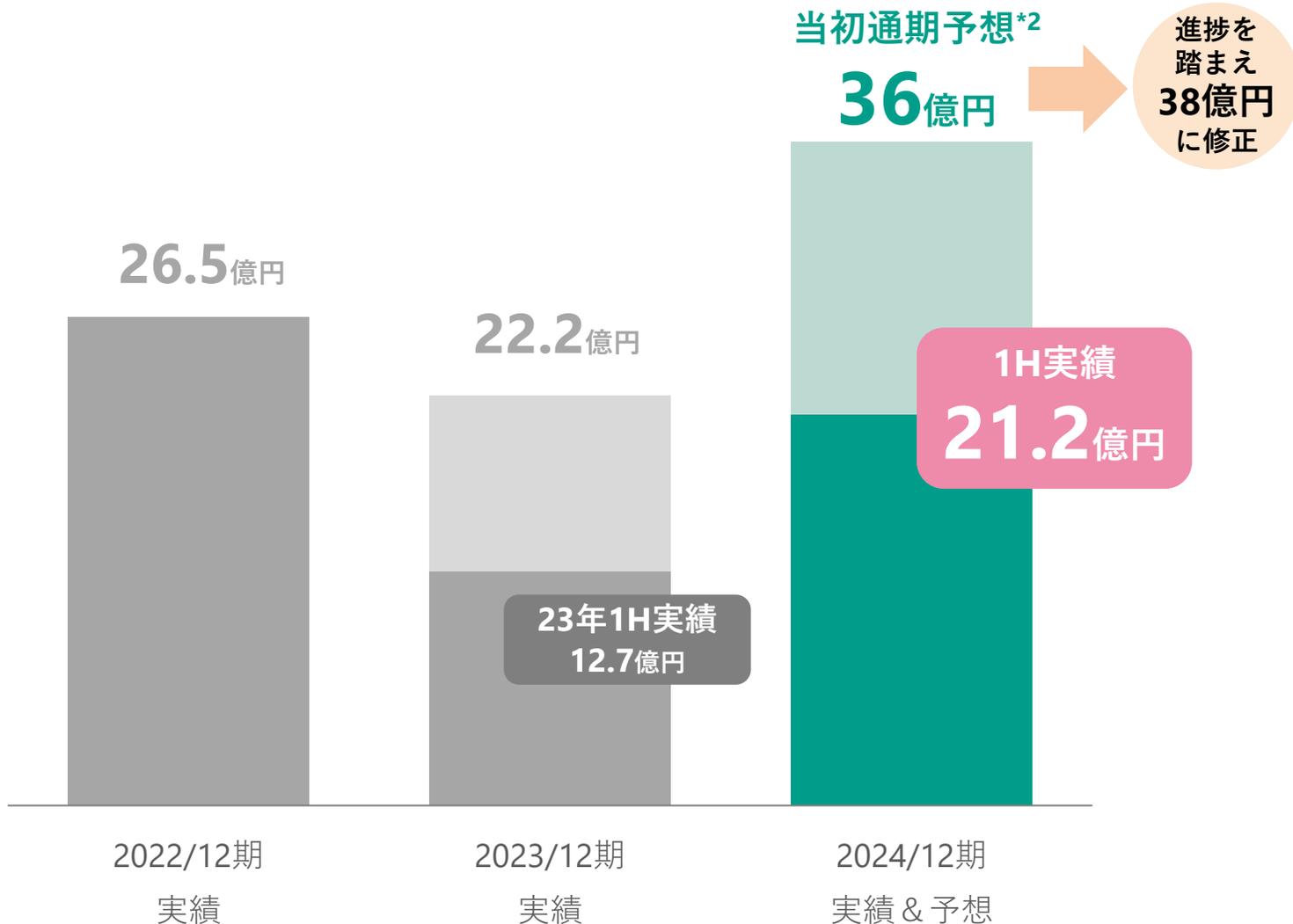
2024年度1H調整後EBITDA \*1

21.2億円

(当初通期予想進捗率 59%)

サティス製薬の連結寄与、  
キューサイの販売費削減等により  
前年同期比で1.7倍と大幅増加

上期の堅調な進捗を踏まえ、  
通期予想を上方修正



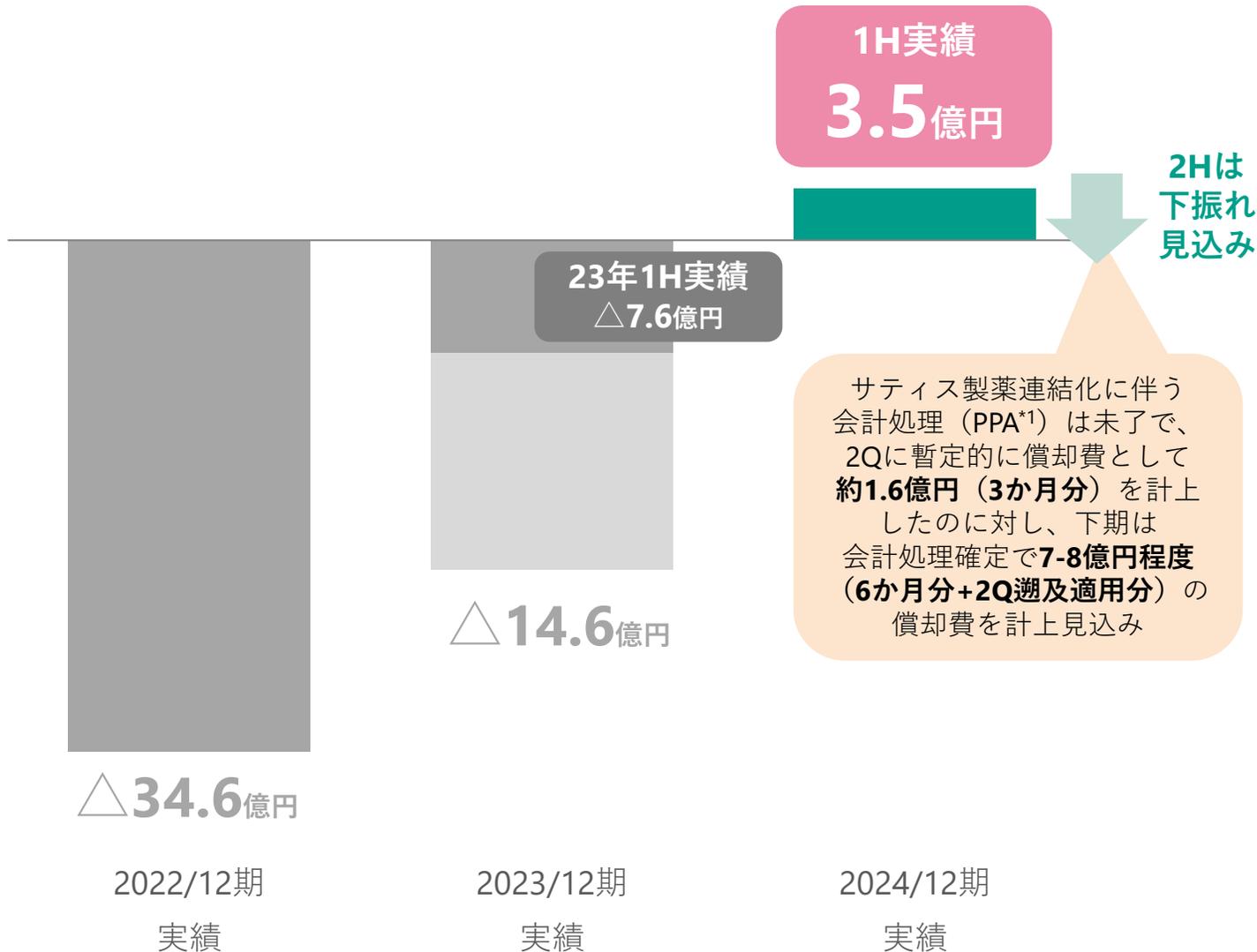
# 2024年度業績 - 営業損益

2024年度1H営業利益

3.5億円

1Qに引き続き半期でも  
営業損益の黒字化を達成

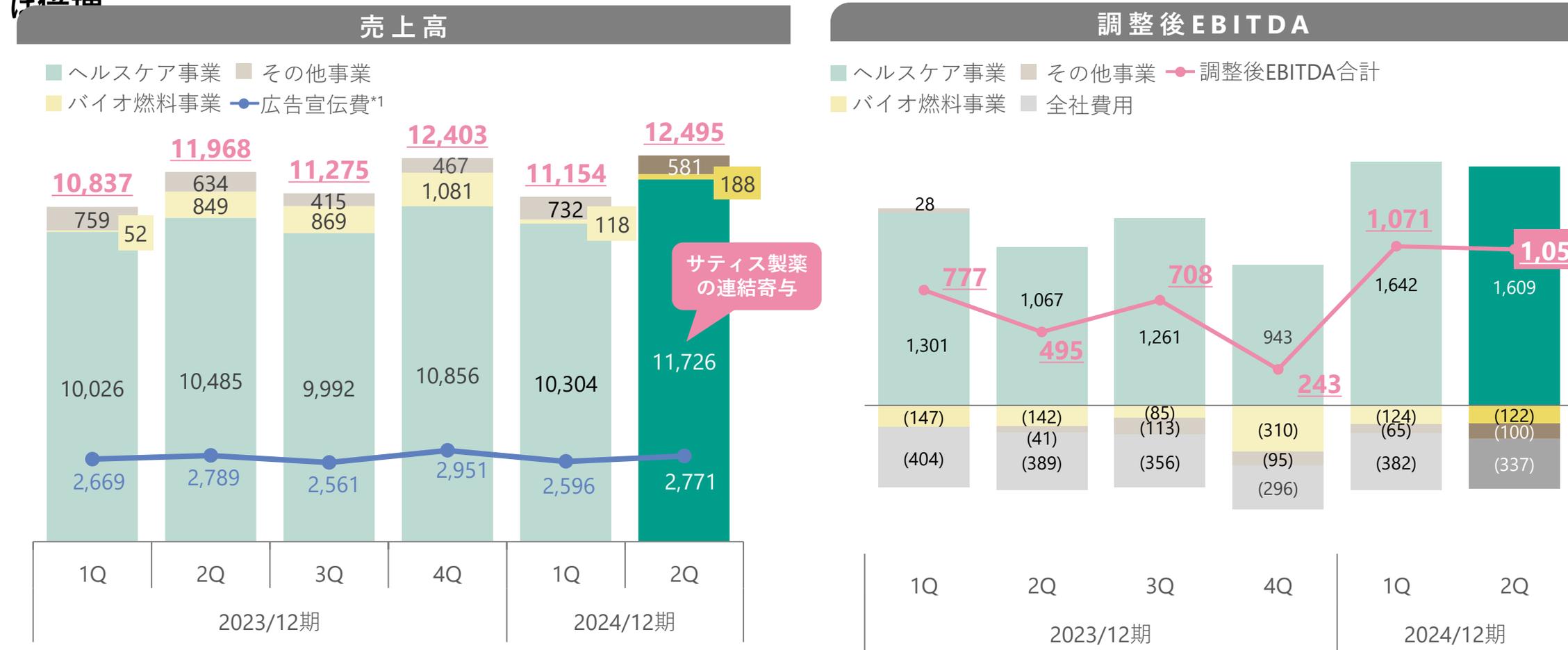
サティス製薬連結化に係る会計処理は  
2Q時点で未了、下期はPPA\*1確定により  
7-8億円程度の償却費を計上し、  
営業損益を下押しする見込み



# 2024年度業績 - 四半期売上高/調整後EBITDAの内訳

## サティス製薬の連結寄与により、四半期売上高は過去最高値を更新

調整後EBITDAは、広告投資拡大により1Q比では減少するも、サティス製薬の連結寄与に伴い前期2Q比で倍増



\*1: 売上推移グラフの広告宣伝費に販促費は含まれていない  
注: 単位は百万円

# 2024年度業績 - 決算サマリー

サティス製薬の連結寄与、  
販売費率の改善、  
実証プラント費減少等により、  
営業/経常利益は黒字を達成

はこ社の株式譲渡や  
LIGUNA社の不動産譲渡に伴う  
特別損失等により当期純損益はマイナス

(単位：百万円)	2023/12期 1H実績	2023/12期 2H実績	2024/12期 1H実績	対前期1H比	対前期2H比
	①	②	③	③-①	③-②
売上高	22,805	23,677	<b>23,649</b>	<b>+844</b>	<b>△28</b>
売上原価	7,024	7,684	<b>7,215</b>	<b>+191</b>	<b>△469</b>
売上総利益	15,781	15,993	<b>16,434</b>	<b>+653</b>	<b>+441</b>
参考：売上総利益率	69.2%	67.5%	69.5%	+0.3%	+1.9%
営業損益	△760	△704	<b>348</b>	<b>+1,109</b>	<b>+1,052</b>
営業外損益	121	△76	△39	△160	+37
参考：助成金収入	303	170	49	△255	△122
経常損益	△640	△780	<b>309</b>	<b>+949</b>	<b>+1,089</b>
特別損益	21	△712	△786	△807	△73
法人税等	294	252	△241	△535	△493
親会社株主に帰属する 当期純損益	△914	△1,739	<b>△267</b>	<b>+647</b>	<b>+1,471</b>
調整後EBITDA*1	1,272	950	<b>2,122</b>	<b>+850</b>	<b>+1,172</b>

\*1: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費)+助成金収入+株式関連報酬+棚卸資産ステップアップ影響額

注: 上記は百万円未満を四捨五入して記載しているため、決算短信記載値(百万円未満を切り捨て)とは一致しない場合有り(他のページのチャート、テーブルの記載値も同様)

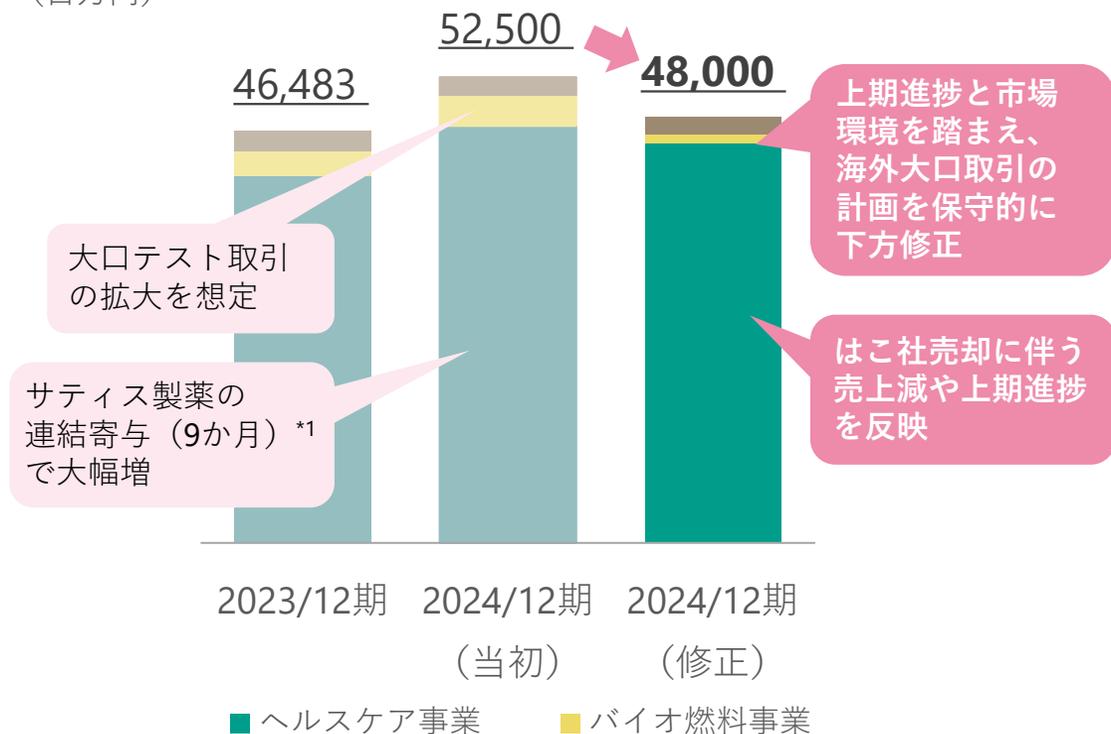
# 2024年度通期業績予想 - 業績予想の修正

## バイオ燃料の大口取引の進捗、はこ社売却を踏まえ、売上高予想を下方修正

調整後EBITDA予想は、はこ社売却による減少影響はあるものの、上期の堅調な進捗を踏まえて小幅に上方修正

売上高

(百万円)



大口テスト取引の拡大を想定

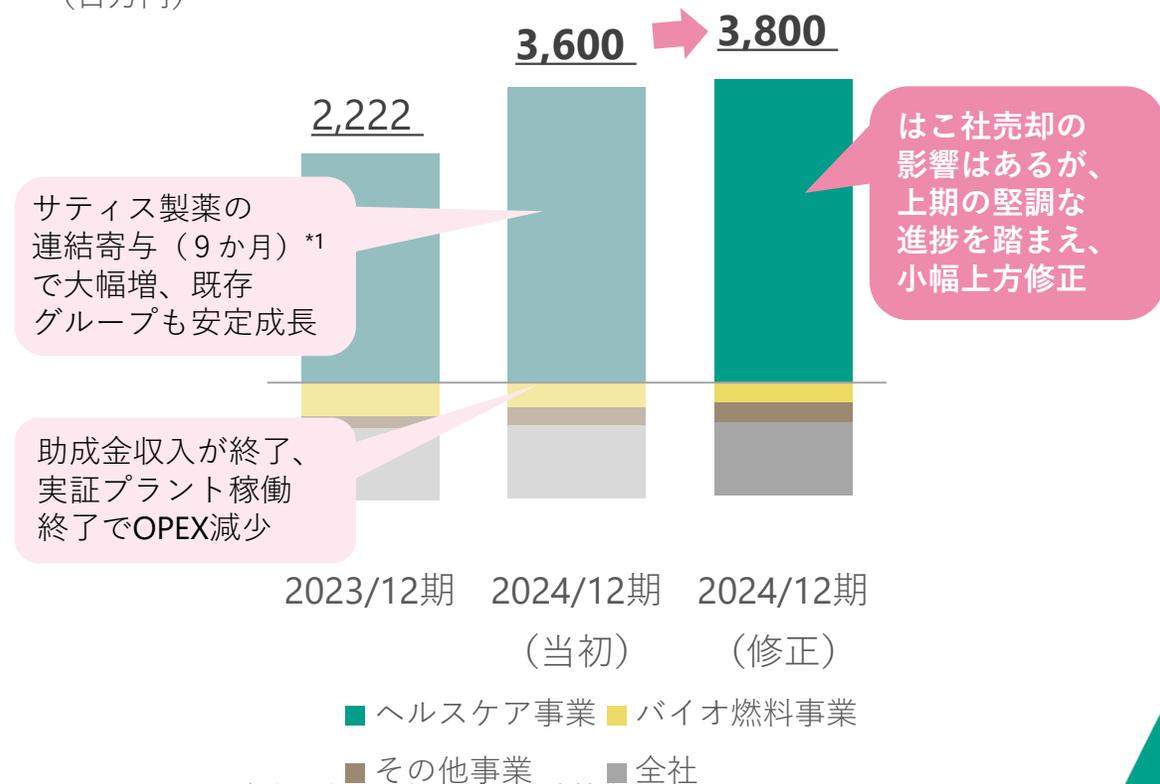
サティス製薬の連結寄与(9か月)\*1で大幅増

上期進捗と市場環境を踏まえ、海外大口取引の計画を保守的に下方修正

はこ社売却に伴う売上減や上期進捗を反映

調整後EBITDA\*2

(百万円)



サティス製薬の連結寄与(9か月)\*1で大幅増、既存グループも安定成長

助成金収入が終了、実証プラント稼働終了でOPEX減少

はこ社売却の影響はあるが、上期の堅調な進捗を踏まえ、小幅上方修正

\*1: サティス製薬及び日本ビューテックは2024/3末をみなし取得日として連結化、ナユタは2024/2末をみなし取得日として連結化

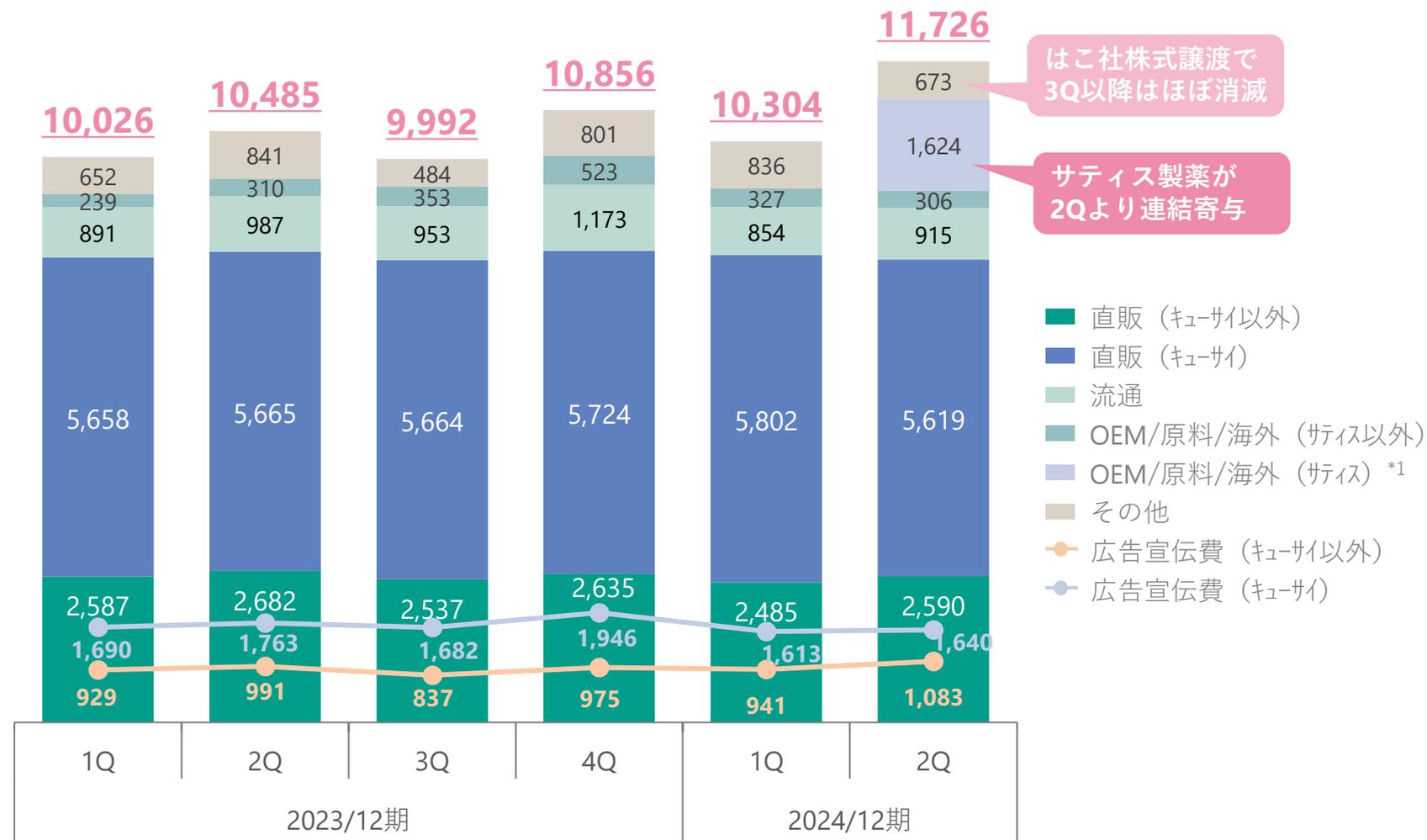
\*2: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費)+助成金収入+株式関連報酬+棚卸資産ステッピングアップ影響額

# 業績トレンド - チャネル別売上高 第2四半期

直販は概ね横ばいで推移、  
ユーグレナ化粧品が  
好調で広告投資拡大

サティス製薬の連結寄与で  
OEM他が大幅に拡大

はこ社の株式譲渡により、  
3Q以降はその他が  
ほぼ消滅する見込み



はこ社株式譲渡で  
3Q以降はほぼ消滅

サティス製薬が  
2Qより連結寄与

- 直販 (キューサイ以外)
- 直販 (キューサイ)
- 流通
- OEM/原料/海外 (サティス以外)
- OEM/原料/海外 (サティス) \*1
- その他
- 広告宣伝費 (キューサイ以外)
- 広告宣伝費 (キューサイ)

\*1: サティス製薬グループの寄与分を2024年2Q以降別建てで表示  
注: 単位は百万円

# 業績推移サマリー - 連結損益計算書

(百万円)	2023/12期					2024/12期								
	連結合計					連結合計			うちユーグレナ <sup>*1</sup>			うちキューサイ		
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	合計	1Q	2Q	合計	1Q	2Q	合計
売上高 (新区分ベース)	10,837	11,968	11,275	12,403	46,483	11,154	12,495	23,649	4,770	6,225	10,995	6,384	6,269	12,654
直販	8,244	8,347	8,201	8,360	33,152	8,287	8,208	16,495	2,485	2,590	5,075	5,802	5,619	11,420
流通	891	987	953	1,173	4,004	854	915	1,769	271	264	535	583	651	1,233
OEM・原料・海外	239	310	353	523	1,425	327	1,930	2,257	327	1,930	2,257	0	0	0
その他	1,463	2,324	1,767	2,347	7,902	1,687	1,441	3,128	1,687	1,441	3,128	0	0	0
売上原価	2,996	4,028	3,558	4,126	14,708	3,130	4,085	7,215	2,002	2,945	4,947	1,128	1,140	2,268
売上総利益	7,841	7,940	7,717	8,276	31,775	8,024	8,410	16,434	2,768	3,280	6,048	5,256	5,130	10,386
粗利率	72%	66%	68%	67%	68%	72%	67%	69%	58%	53%	55%	82%	82%	82%
(内 ヘルスケア事業)	76%	74%	76%	74%	75%	76%	70%	73%	65%	56%	60%	82%	82%	82%
販売費及び一般管理費	8,017	8,524	7,916	8,782	33,239	7,722	8,364	16,086	3,198	3,902	7,101	4,523	4,461	8,985
販売費	5,157	5,362	4,966	5,485	20,970	4,967	5,161	10,127	1,761	2,013	3,773	3,206	3,148	6,354
(内 広告宣伝費)	2,669	2,789	2,561	2,951	10,970	2,596	2,771	5,366	983	1,130	2,113	1,613	1,640	3,254
人件費	1,176	1,249	1,341	1,505	5,271	1,141	1,445	2,586	651	951	1,602	491	494	984
管理費	1,397	1,610	1,321	1,429	5,756	1,433	1,534	2,967	621	732	1,353	812	802	1,614
研究開発費	288	303	288	363	1,242	181	224	405	166	207	373	15	17	32
営業損益	-176	-584	-199	-505	-1,465	302	46	348	-431	-622	-1,053	733	668	1,401
調整後EBITDA <sup>*2</sup>	777	495	708	243	2,222	1,071	1,051	2,122	-191	-147	-338	1,262	1,198	2,461
営業外損益	65	56	41	-117	45	-36	-3	-39	67	99	166	-103	-102	-205
(内 助成金収入)	189	115	137	33	474	23	25	49	22	22	44	2	3	5
経常損益	-111	-529	-158	-622	-1,420	266	43	309	-363	-523	-887	630	567	1,196
特別損益	30	-9	-3	-709	-691	-482	-303	-786	-482	-319	-801	0	16	16
親会社株主に帰属する当期純損益	-168	-746	-350	-1,389	-2,653	192	-459	-267	na	na	na	na	na	na
【参考指標】														
減価償却費 <sup>*3</sup>	524	723	504	358	2,109	490	515	1,005	105	131	237	384	384	768
(内 M&A関連)	365	360	360	360	1,444	360	349	709	48	37	86	312	312	623
のれん償却額	212	212	212	212	847	246	358	604	103	214	317	143	143	287

\*2: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費) + 助成金収入 + 株式関連報酬 + 棚卸資産ステップアップ影響額

\*3: 調整後EBITDAの算出に使用した金額であり、連結キャッシュ・フロー計算書の数値とは異なる

# 業績推移サマリー - セグメント別PL

事業セグメント別内訳								
(百万円)	2023/12期				2024/12期			
	'23Q1	'23Q2	'23Q3	'23Q4	合計	'24Q1	'24Q2	合計
<b>連結合計</b>								
売上高	10,837	11,968	11,275	12,403	46,483	11,154	12,495	23,649
増減率	-10%	10%	-6%	10%	5%	-10%	12%	na
売上総利益	7,841	7,940	7,717	8,276	31,775	8,024	8,410	16,434
対売上高比率	72%	66%	68%	67%	68%	72%	67%	69%
調整後EBITDA	777	495	708	243	2,222	1,071	1,051	2,122
対売上高比率	7%	4%	6%	2%	5%	10%	8%	9%
<b>ヘルスケア事業</b>								
売上高	10,026	10,485	9,992	10,856	41,359	10,304	11,726	22,030
増減率	-11%	5%	-5%	9%	-1%	-5%	14%	na
売上総利益	7,663	7,743	7,600	8,066	31,072	7,813	8,203	16,016
対売上高比率	76%	74%	76%	74%	75%	76%	70%	73%
調整後EBITDA	1,301	1,067	1,261	943	4,572	1,642	1,609	3,251
対売上高比率	13%	10%	13%	9%	11%	16%	14%	15%
<b>バイオ燃料事業</b>								
売上高	52	849	869	1,081	2,852	118	188	306
増減率	-44%	1530%	2%	24%	986%	-89%	59%	na
売上総利益	-1	34	22	80	135	19	41	60
対売上高比率	-2%	4%	3%	7%	5%	16%	22%	19%
調整後EBITDA	-147	-142	-85	-310	-684	-124	-122	-246
助成金収入	79	57	97	0	233	0	0	0
<b>その他事業</b>								
売上高	759	634	415	467	2,274	732	581	1,313
増減率	12%	-17%	-35%	13%	-10%	57%	-21%	na
売上総利益	180	163	95	132	569	192	165	357
対売上高比率	24%	26%	23%	28%	25%	26%	28%	27%
調整後EBITDA	28	-41	-113	-95	-222	-65	-100	-165
対売上高比率	4%	-6%	-27%	-20%	-10%	-9%	-17%	-13%
<b>全社</b>								
売上高	0	0	-0	-2	-2	0	-0	-0
売上総利益	0	0	-0	-2	-2	0	1	2
調整後EBITDA	-404	-389	-356	-296	-1,444	-382	-337	-719

ヘルスケア事業内訳								
(百万円)	2023/12期				2024/12期			
	'23Q1	'23Q2	'23Q3	'23Q4	合計	'24Q1	'24Q2	合計
<b>ユーグレナ・ヘルスケア<sup>*1</sup></b>								
売上高	1,883	2,014	1,954	2,232	8,083	2,005	2,082	4,088
売上総利益	1,425	1,442	1,427	1,505	5,799	1,490	1,479	2,969
対売上高比率	76%	72%	73%	67%	72%	74%	71%	73%
調整後EBITDA	173	66	206	-19	428	251	36	288
対売上高比率	9%	3%	11%	-1%	5%	13%	2%	7%
<b>エボラ</b>								
売上高	951	901	932	1,023	3,807	869	847	1,716
売上総利益	738	722	718	785	2,963	673	670	1,343
対売上高比率	78%	80%	77%	77%	78%	77%	79%	78%
調整後EBITDA	4	-17	90	91	168	36	42	77
対売上高比率	0%	-2%	10%	9%	4%	4%	5%	5%
<b>MEJ</b>								
売上高	393	444	413	445	1,695	302	284	586
売上総利益	325	347	319	362	1,354	216	243	459
対売上高比率	83%	78%	77%	81%	80%	72%	86%	78%
調整後EBITDA	71	25	36	117	249	-7	14	7
対売上高比率	18%	6%	9%	26%	15%	-2%	5%	1%
<b>キューサイ・グループ<sup>*2</sup></b>								
売上高	6,264	6,408	6,309	6,508	25,489	6,428	6,319	12,747
売上総利益	5,095	5,120	5,069	5,286	20,570	5,300	5,180	10,479
対売上高比率	81%	80%	80%	81%	81%	82%	82%	82%
調整後EBITDA	1,028	949	911	697	3,586	1,305	1,248	2,554
対売上高比率	16%	15%	14%	11%	14%	20%	20%	20%
<b>サティス製薬・グループ<sup>*3</sup></b>								
売上高	-	-	-	-	-	13	1,659	1,672
売上総利益	-	-	-	-	-	-2	507	505
対売上高比率	-	-	-	-	-	-14%	31%	30%
調整後EBITDA	-	-	-	-	-	-5	222	217
対売上高比率	-	-	-	-	-	-39%	13%	13%
<b>事業内共通・相殺、はこ社<sup>*4</sup></b>								
売上高	-536	-717	-383	-648	-2,285	686	535	1,222
売上総利益	79	112	67	128	386	136	124	260
調整後EBITDA	25	44	18	57	142	62	47	108

\*2: Q-Partners、キューサイ、キューサイプロダクツ、キューサイファーム

ため、前頁数値と相違あり

\*3: サティス製薬、日本ビューテック、ナユタの3社。サティス製薬及び日本ビューテックは2024/3末をみなし取得日として連結化、ナユタは2024/2末をみなし取得日として連結化

\*4: ヘルスケア事業全体の共通費、各ヘルスケア事業内グループ間の連結相殺、はこ社（2024/6末全株式譲渡）の合計

# 業績推移サマリー - 連結貸借対照表

サティス製薬G  
連結化\*1

(百万円)	2022/12末	2023/3末	2023/6末	2023/9末	2023/12末	2024/3末	2024/6末
<b>流動資産</b>	<b>19,694</b>	<b>26,225</b>	<b>24,560</b>	<b>24,791</b>	<b>24,431</b>	<b>29,438</b>	<b>29,196</b>
現金及び預金	9,954	16,819	16,299	15,698	15,792	18,855	19,091
棚卸資産	4,623	4,677	4,193	4,148	3,685	4,360	4,364
その他	5,117	4,729	4,069	4,944	4,954	6,223	5,741
<b>固定資産</b>	<b>37,581</b>	<b>37,049</b>	<b>36,257</b>	<b>35,664</b>	<b>35,188</b>	<b>41,724</b>	<b>41,087</b>
有形固定資産	5,848	5,795	5,771	5,687	5,507	6,971	6,681
無形固定資産	30,023	29,489	28,771	28,284	27,764	33,324	32,677
(内 のれん)	12,486	12,274	12,062	11,851	11,639	17,979	17,621
(内 顧客関連資産)	16,174	15,825	15,482	15,139	14,796	14,008	13,678
投資その他の資産	1,710	1,765	1,715	1,693	1,917	1,429	1,729
<b>総資産</b>	<b>57,276</b>	<b>63,274</b>	<b>60,817</b>	<b>60,455</b>	<b>59,619</b>	<b>71,162</b>	<b>70,283</b>
<b>負債</b>	<b>37,922</b>	<b>40,808</b>	<b>39,082</b>	<b>39,011</b>	<b>39,405</b>	<b>40,264</b>	<b>38,955</b>
流動負債	12,277	10,787	10,275	10,338	12,271	13,038	12,278
(内 短期借入金)	2,709	2,732	2,509	2,973	3,294	4,558	4,403
固定負債	25,645	30,021	28,807	28,672	27,133	27,226	26,677
(内 長期借入金)	19,497	19,247	18,120	18,101	16,972	18,090	16,688
(内 繰延税金負債)	5,330	5,159	5,071	4,955	4,857	3,675	3,570
(内 社債)	-	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	5,800
<b>純資産</b>	<b>19,354</b>	<b>22,466</b>	<b>21,736</b>	<b>21,444</b>	<b>20,215</b>	<b>30,898</b>	<b>31,328</b>
株主資本	18,958	22,456	21,736	21,459	20,070	30,826	31,243
(内 資本金)	13,985	15,818	15,831	15,868	15,868	15,868	16,306
(内 資本剰余金)	13,316	15,149	15,162	15,199	15,199	16,419	16,857
(内 利益剰余金)	(8,309)	(8,477)	(9,223)	(9,573)	(10,962)	(1,426)	(1,885)
その他	396	10	(0)	(15)	144	72	86
<b>負債・純資産合計</b>	<b>57,276</b>	<b>63,274</b>	<b>60,817</b>	<b>60,455</b>	<b>59,619</b>	<b>71,162</b>	<b>70,283</b>

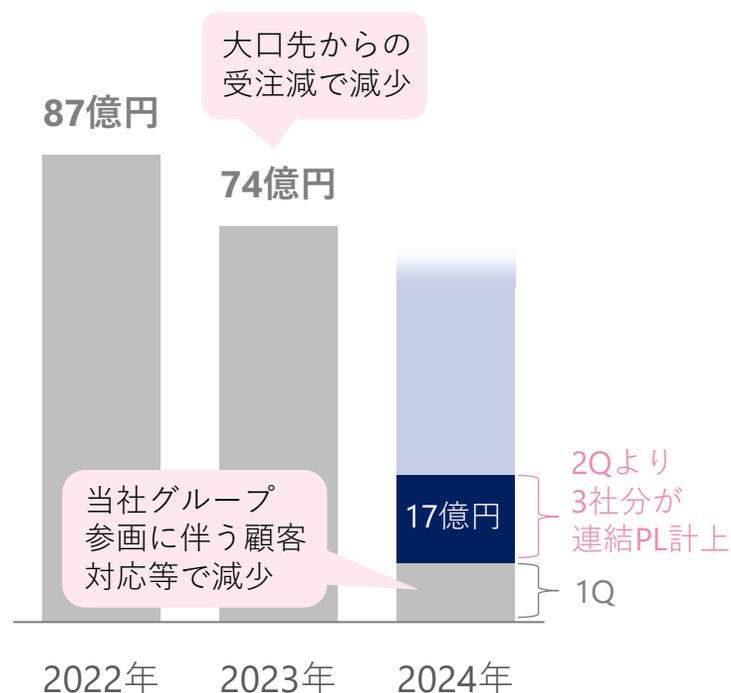
\*1: サティス製薬、日本ビューテック、テュタの3社。サティス製薬及び日本ビューテックは2024/3末をみなし取得日として連結化、テュタは2024/2末をみなし取得日として連結化

2024/3末時点のBSでは、サティス製薬グループの連結に伴うのれん6,914百万円を暫定金額で計上。取得原価の確定及び配分は3Q以降に完了する予定

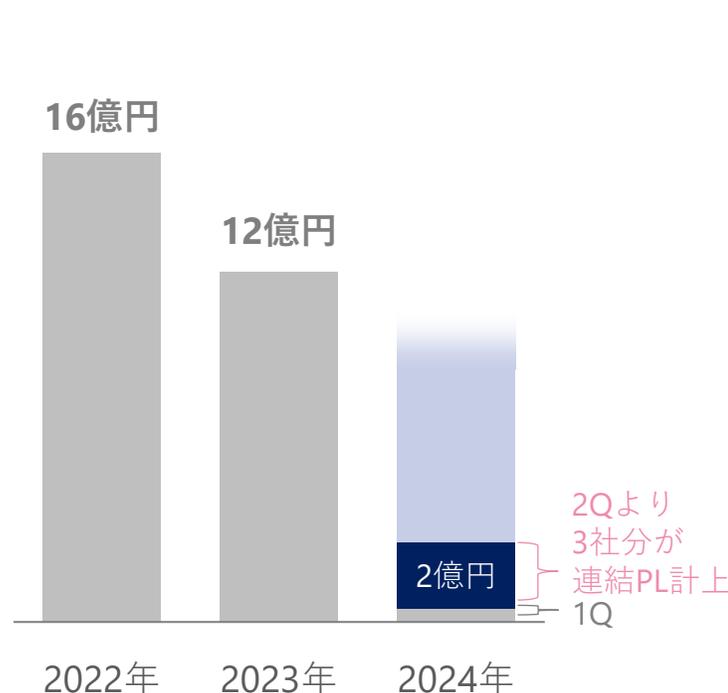
# サティス製薬グループ<sup>o\*1</sup> - 連結業績への影響

当社グループ参画に伴う顧客対応等で1Q売上高・EBITDA共に減少するも、2Q以降は回復基調  
M&Aに伴う会計処理は2Q時点では未完了、受注残の一括処理等で下期は7-8億円程度の償却費を計上見込み

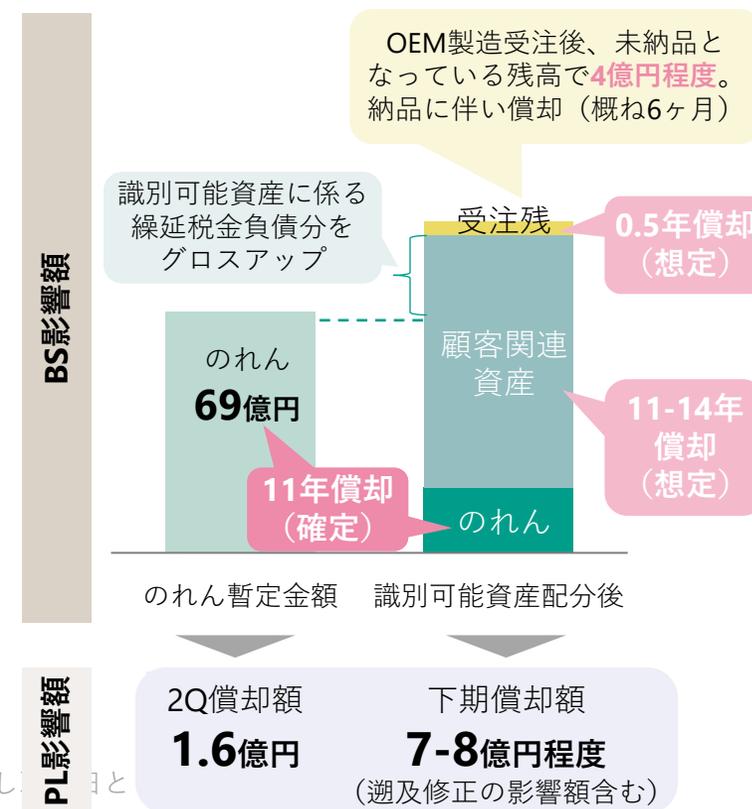
売上高推移（3社連結）



EBITDA 推移（3社連結）



M & A に伴う会計処理影響<sup>\*2</sup>



\*1: サティス製薬、日本ビューテック、ナユタの3社。サティス製薬及び日本ビューテックは2024/3末をみなし取得日として連結化

\*2: サティス製薬及び日本ビューテック連結化に伴い計上したのれんの2024/3末暫定金額は約69億円で、償却期間については11年で決定。2024/6末時点で取得原価の配分は未完了で、下期に識別可能資産（顧客関連資産、受注残）の算定額と償却期間を監査法人と協議して決定予定。ナユタ連結化に伴うのれん（約35百万円）は、2024/3末時点で一括償却済み

